第157号 令和2年(2020年) 1月15日発行

公益社団法人 会報 日本学生陸上競技連合 会 報

向上と進展



[発行所] 公益社団法人 日本学生陸上競技連合 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-11 中沢ビル2階 TEL 03-5304-5542 FAX 03-5304-5569

あけましておめでとうございます

绿 松本 正之

皆様には、お元気で新年をお迎えのこととお慶び 申し上げます。

また日頃は、公益社団法人日本学生陸上競技連合に対し、格別のご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

今年は、第22回世界大学クロスカントリー選手権 大会(3月/モロッコ)、そして8月に開催されます 東京オリンピックを目前に控え、学生競技者にとっ ても大変刺激の多い年になるのではないでしょう か。皆さんの大いなる飛躍を期待します。

平成から令和となった昨年を振り返りますと、6 月の日本学生陸上競技個人選手権大会(平塚市)では、男子10000m競歩で大会新記録が誕生し、7月の第58回実業団・学生対抗陸上競技大会(平塚市)では、学生諸君は実業団を相手に存分の活躍をしてくれました。また、第30回ユニバーシアード競技会では金メダル8個、銀メダル6個、銅メダル5個、合計19個と国別では最も多いメダルを獲得する輝かしい結果を残しました。

そして9月の日本インカレ(岐阜市)では、男子 三段跳と女子ハンマー投でU20日本新記録が、女 子三段跳では大会新記録が誕生しました。対校戦で は男子は順天堂大学が9年ぶり28回目の総合優勝、 女子は筑波大学が2年連続26回目の総合優勝を飾 りました。 駅伝シーズンに入り、10月の第31回出雲全日本 大学選抜駅伝競走では、國學院大学が最終区で逆転 して悲願の初優勝を果たし、「杜の都仙台」で行われ た第37回全日本大学女子駅伝対校選手権大会では、 名城大学が3年連続4度目の優勝を果たしました。 11月に伊勢路で開催された第51回全日本大学駅伝 対校選手権大会では、終始激しいレース展開とな り、駅伝戦国時代と呼ばれる群雄割拠の中、東海大 学が16年ぶり2度目の優勝を果たしました。

なお、令和元年度内事業としては3月に男女のハーフマラソン選手権大会(男子:立川市、女子: 松江市)と第13回日本学生20km競歩選手権大会(能 美市)が控えております。

令和2年度は、9月には天皇賜盃第89回日本学生陸上競技対校選手権大会が新潟・デンカビッグスワンスタジアムにおいて、北信越学生陸上競技連盟、一般財団法人新潟陸上競技協会の協力をいただき、開催されます。また7月末から東京オリンピックが開催されますので、世界を舞台に日の丸を背負う学生選手には全力を発揮していただくと共に、大会運営をサポートする学生諸君にも、大いに期待しています。

新年にあたり、本年も関係者の皆様にはなお一層 のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、 ご挨拶と致します。

あいさつ 1

公益社団法人 日本学生陸上競技連合 会報 第157号 (令和2年1月15日発行)

向上と進展

目 次

新年のご挨拶 ················· 1
【海外派遣】
7フルズ・ロードレース2019
【大会報告】
第31回出雲全日本大学選抜駅伝競走6
第37回全日本大学女子駅伝対校選手権大会 9
秩父宮賜杯第51回全日本大学駅伝対校選手権大会 12
2019全日本大学女子選抜駅伝競走 · · · · · 16
【計画発表】
東京マラソン2020 準エリートの部への選手の推薦について
【会議報告】
第40回理事会 議事録
令和元年 学生役員会議
第41回理事会 議事録
【報告等】
2019年日本学生新記録章贈与式を開催・・・・・・・39
2019年度日本学生陸上競技連合卒業予定の学生役員送別会を開催・・・・・・39
競技委員会・強化委員会より
【告知】
第65回指導者会議開催要項41
普通会員数報告 42
賛助会員募集/入会報告/編集後記43

2 目 次

【海外派遣】 7ヒルズ・ロードレース 2019 Zevenheuvelenloop 2019

Nijmegen-Netherlands

報告者 黒井 文香 (日本学連常任幹事)

1. 大 会 名: 7ヒルズ・ロードレース **2. 大会期日**: 2019年11月17日(日)

13:00スタート(現地時間)

3. 派遣期間: 2019年11月13日(水)~19日(火)

6泊7日(機内1泊)

4. 場 所:オランダ・ナイメーヘン

5. 派遣種目: 15km

6. 派遣選手 (男子4名、女子3名)

子:中村 風馬(帝京大学2年)

凪也(中央大学2年) 蝦夷森章太(東洋大学2年)

遠藤 大地(帝京大学2年)

女 子:鈴木 優花(大東文化大学2年)

高橋ひより(東京農業大学2年)

荒井 優奈(名城大学1年)

7. 派遣スタッフ

チームリーダー:米田 勝朗(日本学連強化委員/名城大学) 総務兼コーチ:中野 孝行(日本学連強化委員/帝京大学) 代理人:柳原元(インプレスランニング) マネージャー:黒井 文香(日本学連常任幹事/駒澤大学)

8. 派遣目的と派遣選手選考について

2018年に引き続き、ユニバーシアード競技大会 ハーフマラソンの強化対策として、ヨーロッパで開 催されるロードレースに選手を派遣することになり ました。これは、海外遠征を通して国際感覚を身に つけるとともに、レベルの高い競技会に出場するこ とで、日本の学生の競技力を試すことに重点を置い たものです。

派遣選手は、第22回日本学生ハーフマラソン選手 権大会、第88回日本学生陸上競技対校選手権大会男 女10000mの結果を基に選考されました。なお、ユニ バーシアードの強化対策であることから、2年生以 下を選考対象としております。

9. 派遣大会について

2018年と同様、オランダ・ナイメーヘンで行われる 15kmのロードレースが派遣大会となりました。出場



者数が40,000人という本大会は、エリートランナーも 数多く出場する、レベルの高いレースです。大会名か らもわかる通り、7つの丘を越えるというかなりタフ なコース設定であるので、単純に速さだけではなく、 上り、下りをしっかり走れるかという強さも求められ ます。

10. 大会結果

【男子】

氏 名	所 属	順位	記録
S.Kissa	ウガンダ	1位	41分49秒
E.Kiptoo	ケニア	2位	41分51秒
M.Koech	ケニア	3位	42分06秒
中村 風馬	帝京大学	15位	44分19秒
遠藤 大地	帝京大学	16位	44分21秒
森 凪也	中央大学	18位	44分43秒
蝦夷森章太	東洋大学	25位	45分37秒

【女子】

氏 名	所 属	順位	記録
L.Gidey	エチオピア	1位	44分20秒 (世界最高)
E.Chirchir	ケニア	2位	46分33秒
E.Cherono	ケニア	3位	48分15秒
鈴木 優花	大東文化大学	4位	48分48秒 (日本勢過去最高)
高橋ひより	東京農業大学	9位	52分04秒
荒井 優奈	名城大学	12位	52分59秒

海外派遣 3

11. 大会の総括

大会当日、この時期にしては珍しく快晴で風も弱く、ここ数年の中ではたいへん良いコンディションの中、レースは行われました。今回もエリートランナーが多数出場し、男子はハイペースでレースが展開されました。先頭は最初の5kmを14分16秒で通過。学生は中村、遠藤、森の3選手が14分34秒~38秒、蝦夷森選手が15分08秒で通過しました。厳しいアップダウンが連続するレース中盤、先頭集団は10kmを28分07秒で通過し、遠藤選手が29分32秒、中村選手が29分39秒、森選手が29分46秒、蝦夷森選手が30分23秒で通過しました。結果、順位は中村選手15位、遠藤選手16位、森選手18位、蝦夷森選手25位という結果でした。1位から3位は混戦でしたが、学生も後半も粘り強く走り、競技レベルが年々向上していることを実感しました。

女子のレースも前半からかなりのハイペースとなり、 優勝者は世界最高記録を更新する圧巻の走りで、世界 の強さを見せつけられました。日本勢の中では鈴木選 手が積極的な走りを見せました。優勝した Gidey 選手 は最初の5 kmを15分07秒で通過。鈴木選手は16分 22秒で、高橋選手、荒井選手は17分18秒~17分23秒で通過しました。10kmはGidey選手が29分43秒という男子学生選手に引けを取らない速さで通過しました。日本勢の10km通過は鈴木選手が32分47秒、高橋選手が34分40秒、荒井選手が35分03秒でした。ラスト5kmもGidey選手のペースは落ちることなく圧倒的な強さを見せました。鈴木選手もラスト5kmをしっかり走り、48分48秒の4位でフィニッシュしました。このタイムはこれまでこの大会を走った歴代の日本の女子選手の最高記録です。高橋選手、荒井選手も後半まで粘り強く走り、昨年度以上の好タイムでした。

日本を出発する直前に女子1名が、故障と体調不良で遠征を辞退したのは残念でしたが、参加した7名の学生達はいろいろなことを学ぶことができた有意義な遠征であったと思います。今回の遠征が、学生長距離界の競技力向上につながり、さらにはユニバーシアード競技大会でのメダル獲得につながっていくことを期待しております。

以下、選手達のコメントを紹介して本大会の報告と 致します。



男子の日本人トップ(15位)だった 中村風馬(帝京大)



男子16位だった遠藤大地(帝京大)



男子18位の森凪也(中央大)



男子25位の蝦夷森章大(東洋大)



女子では48分48秒の 日本勢過去最高タイム を叩き出した鈴木優花 (大東文化大)が日本 人トップの4位。



女子9位の高橋ひより(東京農業大)



女子12位の荒井優奈(名城大)

4 海外派遣

中村風馬(帝京大学2年)

初めての海外遠征でしたが、たくさんのことを学び、経験することができました。食事面、行動面で不安がありましたが、監督をはじめとするスタッフの皆さんのサポートのお陰で落ち着いてレースに挑めたと思います。

レース当日になると、日本とは違う雰囲気の 大会で待機所で外国人選手を見てとても緊張しました。しかし、このチャンスをつかみ、何かを 得て競技に生かしたいという思いから外国人選 手についていき、思い切ったレースをしようと 臨みました。レース全体を通してペースの上げ 下げに対応できず、序盤から離れてしまいましたが中盤、後半と1人になりながらも粘り、後半 で切り替えができ、目標タイムは違成できました。しかし、他の選手との圧倒的な力の差を じました。3 kmで先頭から離されてしまい、プ クラスの選手と一緒のレースに出場できたこと は自分にとって大きな経験になったと思います。

今回は次のユニバーシアードに向けての強化の一環であり、まだまだこれから先を見据えて競技に取り組んでいく必要があります。今大会で学んだことを生かして次に繋げていきたいと思います。監督、コーチ、スタッフやその他にも現地以外で支えてくださった皆さんのお陰で今回の海外遠征を無事に終えることができました。本当にありがとうございました。

森凪也(中央大学2年)

今回は海外のレースに参加させて頂くという ことで、「世界レベルへのチャレンジ」をテーマ に出場しました。しかしながら、先頭で走れた のも最初の3kmほどで、それ以降は苦しい走 りとなってしまい、国内のレースでは体感した ことのないレベルの違いを思い知らされまし た。コースもかなりタフで、スピードやスタミナ に加えてペース配分を考える頭や粘り切る力が 必要になってくるため、国内のレースだけでは 気づくことができない学びや発見がありまし た。また、世界トップクラスの選手と同じレース に出場できたということは、今後の陸上人生に おいて貴重な経験となりました。今回で得た学 びや気づきを次に生かすことがこのレースの最 も重要なテーマだと思うので、出た課題をクリ アすることに力を入れたいと思います。海外の レースでは、何が起こるかわからない、情報の 少ない中で臨機応変に対応しなければいけない ので、自分の力を発揮するための"芯、が必要だ と感じました。

今回のレースで自身の夢であったユニバーシ アード出場を目標にすることを決意しました。 決意するきっかけとなったこのレースの存在を 忘れずに、これから2年間精進します。

遠藤大地(帝京大学2年)

初めて海外でのレースを経験し、とてもたくさんのことを学ぶことができました。ここまでレベルの高いレースを走ったことがなかったので、強い選手と走れて楽しかったです。経験豊富なスタッフや、今回一緒にレースを走った選手達のお陰でとても充実したものとなりました。

また、いつもと違った環境での調整練習や食事、生活を送るなかでのレースでしたが、そういった中でもしっかりとレースに合わせることができたのは大きな収穫でした。

私にとって最大の目標である箱根駅伝に向けても、良いきっかけになりました。ここで学んだ

ことをチームに落とし込み、これからの競技生活に生かしていきたいです。

また、今回このレースを選ばれて走ったということに責任と自覚を持ち、2年後のユニバーシアードに日本代表として出場できるよう、しっかりと取り組んでいきたいと思います。

蝦夷森章太(東洋大学2年)

この大会を迎えるにあたり、ご尽力いただきました日本学連の皆様、本当にありがとうございました。今回の遠征では、世界トップクラスの選手との力の差や、海外での食事の難しさ、時差への対応など、自分の力不足を痛感しました。

しかし、その中で得られたものが多くありました。毎日、学ぶことばかりで大変貴重な体験となりました。これは今後の自分の競技生活にとってプラスになることは間違いありません。この経験があったから今があるのだと、今後思えるように、これからも高い目標を持ち続けて陸上競技と向き合っていこうと思います。

帯同していただいたスタッフの皆様、大変お 世話になりました。チームに帰り、活躍する姿を お見せできるように精進してまいります。

鈴木優花(大東文化大学2年)

今大会に出場し、次のユニバーシアードや世界大会を目指すための良い機会をいただき、大変光栄でした。自分にとって、世界トップレベルの選手が集まるシニアの大会は初出場であり、多くの市民ランナーもいる大規模な大会の中で、自分の力を発揮するにはどうしたら良いかを具体的に考えました。この「考えること」が、自分らしい走りに結びついたように感じます。

自分らしい走りとは、「1人でも自分のペース は崩さず押していく走り | です。前方の選手の力 も借りつつ、リズムや姿勢などを崩さずに行く ことを考え、走りました。一度追い抜いた選手 に再度追い抜かれることが何度もありました が、変に動揺しなかったのは、それだけ自分に 集中できていたからだと思います。楽観的でし た。こんなふうに上げて終わりたいな、というイ メージが頭の中にありました。そして、エリート ランナー部門になっていた自分たちには、控え 場所なども室内に設けられ、寒さに対応しやす い状況でした。ただ、スタートラインで待機して る間に、レースのスタートに並ぶのが少し遅く なり、スタート後に2、3秒のロスがありまし た。場所取りも早く自分で行うように注意しま す。レース以外でも図々しくいないといけませ ん。その分、女子部門の Gidey 選手をはじめとす る世界大会メダリストのすぐ後ろに、序盤から つくこともできないまま走ることになってしま いました。それだけでも違う結果があったかも しれません。

食に関しては、ご飯とパンの主食の違いから 消化に関する問題もありましたが、当日はアル ファ米やバナナなどを準備していただいたお陰 で、普段通りの食事ができ、問題なく走り終え ました。

引率してくださった監督、スタッフの方々から大変過ごしやすい環境を整えていただき、自分のことに集中することができました。本当にありがとうございました。その分、走りで精一杯出し切る気持ちもなお出ていたので、「走りで表現するんだ」と思いながら実行する感覚もあったレースでした。

また、外国語を率先して学ぶことも考えていかなくてはならないと感じました。一方で、積極的に自分からも意思疎通しようと考えながら、過ごしました。街の文化にも触れ、見聞を広げ

ることもできました。常に学ぶ姿勢を持つために、モチベーションを高く持ち続けられれば何をするべきかも自ら探して、その時のベストな答えにたどり着けると思います。生活からの気持ちの持ち方が競技にいかに関わってくるか、改めて見つめ直す機会となりました。

距離が延びれば延びるほど、気持ちも大きく 関与します。人の声にも励まされ、楽しく走り終 えられたことが1番の収穫でした。

高橋ひより(東京農業大学2年)

私にとって、このオランダ遠征、そしてセブンヒルズのレースはとても大きな収穫があるものとなりました。出発前は初めての海外、初めてのJAPANのユニフォームに楽しみと不安が入り混じっていました。現地に着くと、日本とは違う街並みや食事など1つひとつが刺激的で感動しながらも、その土地に合わせて調整していく難しさを感じました。チームの雰囲気は、普吹はライバル関係にある他大学の選手ともも過ごイバル関係にある他大学の選手ともも過ごイがル関係にあい、男女ともにとても明る分のペースで入り、途中のアップダウンもリズムに乗って走れたので良かったです。今の自分の力は発揮できたと思います。

しかし、世界のトップ、そして同じ日本の仲間の背中はとても遠いものでした。スタートのハイペース、中盤もラップを落とさないスタミナは圧倒されました。自分の力不足を痛感したと同時に、もっと上を目指したいというモチベーションにもなりました。今回の遠征は、2021年のユニバーシアードに向けての強化の一環です。必ず世界の舞台で戦えるように、ここで学んだことをこれからの生活に反映していきます。

帯同してくださったスタッフの方々、一緒に 走ったかけがえのない仲間、応援してくださっ たすべての方々に感謝しています。本当にあり がとうございました!

荒井優奈 (名城大学1年)

今回、私は初めて海外でのレースを走らせていただきました。日本でのレースとは時差や食事、天候、路面、沿道など雰囲気や環境がまったくと言ってもいいほど異なったものでした。その中でも自分の調子を合わせていくという難しさを感じました。また、普段は同じ学校同士の遠征となりますが、今回は他校の選手と生活、行動をともにすることでレース以外の部分でも学ぶものがありました。

レースの結果としては悔しさが残る内容となり、課題も多く見つかりました。初めての15kmという長い距離や激しい起伏のあるコースを走り、長距離に対応する力、どんなコースでもある程度のペースを刻む体力の重要さを実感しました。

ですが、悔しさよりも大きく私に残ったものがあります。それは「また、このような世界の舞台で戦いたい」という気持ちです。このような気持ちになることができたのも、遠征中にお世話になった先生方やマネージャーさんのサポートがあってのことだと思います。この感謝の気持ちを今後の結果で示していけるようにしたいです。また自分を見つめ直し、成長するさんかけにすることで、この遠征の本当の価値が見出せると思います。そのためにも努力し、今後につながるものとなるようにしていきたいです。

そしてこの期間中、楽しく過ごすことができ た学生のメンバーにも感謝し、つながりを大切 にしていきたいです。

海外派遣 5

【大会報告】 第31回出雲全日本大学選抜駅伝競走

常任幹事 渡邉 稜太

1. 大 会 名: 第31回出雲全日本大学選抜駅伝競走

2. 大会期日: 2019年10月14日(月·祝)

3. 場 所: 島根·出雲市

出雲大社正面鳥居前~出雲ドーム前

4. エントリー数: 17校

・北海道学連選抜チーム

・東北学連選抜チーム

・北信越学連選抜チーム

・米国アイビーリーグ選抜チーム

5. 大会総括

10月14日(月・祝)の体育の日、駅伝シーズンの幕開けとなる出雲全日本大学選抜駅伝競走が行われ、出雲大社正面鳥居前から出雲ドーム前までの全6区間45.1kmの出雲路を、全21チームが力強く駆け抜けました。

今回、各地に歴史的な被害をもたらした台風19号の接近により、選手・役員の輸送にも大きな混乱をもたらしました。出雲への交通機関がマヒしたことで一時はどうなることかと思われましたが、宿泊輸送班の臨機応変な対応によって全員無事集合し、開会式を行うことができました。開会式では大会会長および市長から台風の被害にあわれた方へ、お見舞いのお言葉がありました。

今大会は「戦国駅伝」との呼び声があるように出場校の実力が拮抗しており、どの大学が優勝を手にするかに注目が集まりました。1区では、北海道学連選抜のローレンス・グレ選手(札幌学院大)が2位に1分以上の大差をつける圧倒的な走りを披露し、北海道学連初の区間賞を獲得しました。2区では、青山学院大1年生の岸本大紀選手が区間賞を獲得する大活躍を見せました。3区は、駒澤大の同じく1年生・田澤廉選手が惜しくも区間賞は逃したものの、区間記録を破る区間2位の記録で快走し、チームを首位に押し上げました。区間賞は東洋大の相澤晃選手が獲得しましたが、区間1位から6位までの選手が区間記録を上回る大変見応えのある区間となりました。4区は駒澤大の小林歩選手が力強い粘りのある走りで終始安定したレース展開を見せ、トップでタスキを渡しました。5

区では首位で走る駒澤大の中村大成選手が後続との差をさらに広げ、最終区の中村大聖選手に優勝を託しました。6区では國學院大の土方英和選手が、ゴールまで残り700mの地点で首位を走る駒澤大を捕らえ、そのままフィニッシュ。國學院大が悲願の初優勝を果たしました。優勝した國學院大(2時間9分58秒)から2位の駒澤大、3位の東洋大、4位の東海大、5位の青山学院大までが1分以内でフィニッシュするという、近年稀にみる接戦でもありました。

こうして毎年無事に大会を開催することが出来ますのも、主催の出雲市、ご協賛いただいている富士通株式会社、ご協力いただいている出雲全日本大学選抜駅伝競走組織委員会をはじめとする、多くの方々のご支援ご協力があってのことと深く感謝申しあげます。来年度も素晴らしい大会となるよう日々邁進してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



初優勝のテープを切った國學院大のアンカー・土方英和。6区10.2kmを日本人歴代最速の29分05秒で走破し、区間賞も獲得した



3区では國學院大の浦野雄平(左)が終盤まで先頭争いをリード。最後は区間2位だった駒澤大のルーキー・ 田澤廉(右)に4秒先着されたものの区間3位にまとめた。中央は青山学院大の吉田圭太(区間4位)

学生三大駅伝初タイトルを手にした國學院大の選手たち。左から1区藤木宏太、2区中西大翔、3区浦野雄平、4区青木祐人、5区茂原大悟、6区土方英和





3区で先頭を奪った駒澤大は8秒差の2位。4区小林歩(左端)と5区中村大成(その右)が先頭をキープしたが、最終6区の終盤で逆転を許した。右端は5位となった青山学院大の5区竹石尚人、その左は4区(6.2km)で17分24秒の区間新記録を樹立して区間賞に輝いた神林勇太



各校のエースが集まり、区間6位までが従来の区間記録を塗り替えた3区(8.5km)で区間賞を獲得したのは東洋大の相澤晃(手前)。久保田和真(青学大/現・九電工)が2015年に樹立した記録を25秒も短縮する23分46秒を叩き出し、5位から3位まで押し上げて終合3位に貢献した。左後方は区間6位だった東海大の塩澤稀夕

前々回の覇者で、昨年度の箱根駅伝優勝校である東海大は4位。アンカーの西田壮志は日本 人区間歴代3位となる29分23秒(区間2位)と 好走した





立命館大が過去最高タイとなる6位に食い込む。関東勢以外では最上位だった。 アンカーは吉岡遼人



1区から大混戦模様となり、上位5チームが首位と1分差以内でフィニッシュしたのは2003年の7チームに次いで歴代2番目タイだった

第31回出雲全日本大学選抜駅伝 成績

2019 年 10 月 14 日(祝・月)島根・出雲大社正門鳥居前-出雲ドーム前 6 区間 45.1km 上段=総合成績 下段=区間成績 ●=区間新

チーム名	1 ⊠ (8.0kı			2区 8km)		3 区 .5km)		4 ⊠ .2km)		5区 4km)		6区 .2km)	総合成績 (45.1km)
①國學院大學		太(2) 24.29	中西 (3)	大翔 (1) 40.50	浦野 (2)	雄平(4) 1.04.47	青木 (4)	祐人(4) 1.22.32		大悟 (4) 1.40.53	土方 (1)	英和 (4) 2.09.58	2.09.58
		·貴 (4)	(3)	16.21 颯汰 (3)	(3)	● 23.57 廉 (1)	(5) 小林	17.45 歩(3)	(5) 中村	18.21 大成(4)	(1)	29.05 大聖(4)	
②駒澤大学	(2)	24.23	(2)	40.49 16.26	(1)	1.04.43 • 23.54	(1)	1.22.13 • 17.30	(1)	1.40.16	(2)	2.10.06	2.10.06
③東洋大学	西山 和 (10)	弥 (3) 24.41	大澤 (5) (2)	駿 (3) 41.01 16.20	相澤 (3) (1)	晃(4) 1.04.47 ●23.46	宮下 (3) (4)	隼人(2) 1.22.30 17.43	今西 (2) (2)	駿介 (4) 1.40.29 17.59	定方 (3) (3)	駿 (4) 2.10.09 29.40	2.10.09
④東海大学	西川雄一 (4)	·朗 (4) 24.28	阪口 (6)	竜平 (4) 41.05	塩澤 (5)	稀夕(3) 1.05.14	市村 (5)	朋樹 (2) 1.22.43	鬼塚 (5)	翔太(4) 1.40.55	西田 (3)	壮志(3) 2.10.18	2.10.18
⑤青山学院大学	湯原 慶 (7)	吾 (2) 24.35	(6) 岸本 (4)	16.37 大紀(1) 40.51	(6) 吉田 (4)	● 24.09 圭太 (3) 1.04.49	(2) 神林 (2)	● 17.29 勇太 (3) 1.22.13	(4) 竹石 (3)	18.12 尚人(4) 1.40.49	(2) 中村 (5)	29.23 友哉(4) 2.10.51	2.10.51
	` ′	i樹 (4)	<u>(1)</u> 前川	16.16 紘導(3)	(4) 今井	● 23.58 崇人(4)	(1 <u>)</u> 山田	● 17.24 真生 (1)	(6)	18.36 浩平(3)	(5) 吉岡	30.02 遼人(3)	
⑥立命館大学	(6)	24.33	(10) (12)	41.52 17.19	(9)	1.06.18 24.26	(7)	1.24.06 17.48	(7)	1.42.54	(6) (6)	2.13.11 30.17	2.13.11
⑦帝京大学	平田幸四 (9)	24.41	遠藤 (9) (9)	大地(2) 41.27 16.46	小森 (10) (10)	稜太(4) 1.06.22 24.55	谷村 (9) (9)	龍生(3) 1.24.40 18.18	小野 ^長 (6) (1)	1.42.34 17.54	中村 (7) (13)	風馬 (2) 2.13.49 31.15	2.13.49
⑧順天堂大学	野口 雄 (11)	大(3) 24.43	藤曲 (8) (8)	寛人(4) 41.23 16.40	橋本 (6) (9)	龍一(4) 1.05.57 24.34	小島 (8) (11)	優作 (2) 1.24.24 18.27	野村 (8) (13)	優作(1) 1.43.24 19.00	澤藤 (8)	響(3) 2.14.04 30.40	2.14.04
⑨拓殖大学	赤﨑 (3)	暁 (4) 24.26	髙橋 (15) (20)	達彦(2) 42.20 17.54		ディキ(1) 1.06.28 ● 24.08	竹蓋 (10) (8)	草太 (2) 1.24.41 18.13		虎太郎 (1) 1.43.30 18.49	中井 (9) (10)	槙吾 (4) 2.14.18 30.48	2.14.18
⑩法政大学	鎌田 航 (14)	生(2) 24.47	田辺 (11) (10)	佑典(3) 41.53 17.06	青木 (8) (7)	涼真(4) 1.06.13 24.20	人見 (11) (15)	昂誠 (2) 1.24.55 18.42	清家 (11) (10)	陸(2) 1.43.49 18.54		フェーザ (1) 2.14.20 30.31	2.14.20
①中央学院大学	川村 悠 (8)	登 (4) 24.36	小島 (7) (5)	慎也(1) 41.08 16.32	高橋 (7) (11)	翔也(3) 1.06.09 25.01	吉田 (6) (7)	光汰 (2) 1.24.06 17.57	栗原 (10) (20)	啓吾 (2) 1.43.46 19.40	長山 (11) (11)	瑞季 (4) 2.14.36 30.50	2.14.36
⑫北海道学連選抜	L.グレ (札幌学院 (1)		酒井	洋明 (4) 海道大) 40.38	宇野	翔(3) 学院大) 1.06.24	野村	集斗(3) 学院大) 1.25.01	内生	優斗 (1) 国際大) 1.44.38	松舘	悠斗 (4) 道都大) 2.16.17	2.16.17
③米国アイビーリー グ選抜	J.マ (ブラウン (15)		(ダー (19)	17.31 ドマス大) 42.40	(ペンシ) (15)	25.46 ットラー ルバニア大) 1.08.41	(ダー (15)	18.37 フラーク トマス大) 1.27.09	(エ・ (15)	19.37 ウンドン ール大) 1.46.06	(13)	31.39 スター ンビア大) 2.16.31	2.16.31
④関西学院大学	石井 優 (18)	樹 (4) 25.06	(19) 沖見 (13) (11)	17.53 史哉(3) 42.13 17.07	(14) 川田 (14) (14)	26.01 信(3) 1.08.14 26.01	(12) 川島 (14) (10)	18.28 貴哉 (4) 1.26.33 18.19	<u>(11)</u> 藪野 (13) (7)	18.57 正大(3) 1.45.20 18.47	(7) 藤井 (14) (16)	30.25 大輔 (4) 2.17.06 31.46	2.17.06
⑮皇學館大学	上村 直 (20)	世(3) 25.16	川瀬 (12) (7)	翔矢(3) 41.55 16.39	桑山 (13) (12)	楓矢(3) 1.07.40 25.45	平野 (13) (16)	恵大(4) 1.26.29 18.49	市川 (14) (14)	駿希 (2) 1.45.33 19.04	山下 (15) (19)	慧士(4) 2.17.33 32.00	2.17.33
⑯北信越学連選抜	森 悠 (新潟) (13)	大(3) 大) 24.47	岩渕 ^{(新} (14)	健(5) 鴻大) 42.20	小林 (新潟医 (17)	史弥 (4) 療福祉大) 1.08.49	板東 (信 (16)	健志(3) 州大) 1.27.20	鈴木 (新 (16)	基史 (M1) 潟大) 1.46.17	若澤 (新潟医 (16)	新也 (M1) 療福祉大) 2.17.36	2.17.36
⑰愛知工業大学	小林 宏 (21)	輔(3) 25.21	(16) 三浦 (21) (17)	17.33 真和(1) 42.58 17.37	(19) 服部 (20) (17)	26.29 大暉(3) 1.09.11 26.13	鈴木 (19) (20)	18.31 高虎(3) 1.28.16 19.05	中村 (18) (15)	正明 (3) 1.47.44 19.28	植松 (17) (12)	31.19 達也(4) 2.18.45 31.01	2.18.45
®広島経済大学	木邑 (17)	駿 (4) 25.00	一宮 (16) (13)	颯斗(3) 42.26 17.26	福永 (18) (18)	恭平(1) 1.08.54 26.28	松石 (17) (17)	啓輔 (4) 1.27.44 18.50	山崎 (17) (16)	達哉(2) 1.47.13 19.29	河原 (18) (18)	洋太(3) 2.19.02 31.49	2.19.02
⑲京都産業大学	泉 (19)	地(2) 25.07	本井 (18) (15)	義明 (4) 42.39 17.32	北澤 (16) (16)	涼雅 (2) 1.08.48 26.09	稲垣 (18) (19)	雄二(3) 1.27.48 19.00	宮下 (20) (21)	朝光 (4) 1.48.06 20.18	黒川 (19) (17)	大輔 (4) 2.19.54 31.48	2.19.54
20第一工業大学	A.サレー (16)	- (1) 24.56	前原 (20) (20)	匠(1) 42.50 17.54	川原本 (21) (21)			署優樹 (2) 1.28.37 18.57	/小山 (21) (18)	有紀 (2) 1.48.14 19.37	奥西 (20) (20)	瑞希 (4) 2.20.34 32.20	2.20.34
②東北学連選抜	松浦 崇 (東北) (12)	之(4) 大) 24.45	渡辺	誠也 (4) 談也 (4) 形大) 42.37 17.52	時田	爽志 (4) 爽志 (7) (田大) 1.09.07 26.30	沼田	旭陽 (3) 之学院大) 1.28.31 19.24	土井俊	性太郎 (3) 県立大) 1.48.02 19.31	千葉	一天 (2) :学院大) 2.20.37 32.35	2.20.37
過去最高記録	K.ジュ (第一工業 22.30(09	集大)	田村(青山	和希 学院大) 7(17年)	久保 (青山	世和真 学院大) 1(15年)	鈴木(早	注 注 注 (16年)	安藤(青山		G . 夕 (日	ジェニエル (本大) 7(09年)	青山学院大 2.09.05 (2015年)

【大会報告】 第37回全日本大学女子駅伝対校選手権大会

常任幹事 公文こころ

1. 大 会 名: 第37回

全日本大学女子駅伝対校選手権大会

2. 大会期日: 2019年10月27日(日)

3.場 所:宮城・仙台市 弘進ゴムアスリート

パーク仙台〜仙台市役所前市民広場

4. エントリー数: 25 校・東北学連選抜チーム

5. 大会総括

2019年10月27日(日)、小雨の降る曇り空の下、 宮城県仙台市において第37回全日本大学女子駅伝 対校選手権大会が開催されました。前回大会の上位 8校と各地区の予選を勝ち抜いた17校にオープン 参加の東北学連選抜を加えた計26チームが、杜の 都を駆け抜けました。

今回から弘進ゴムアスリートパーク仙台をスタートし、仙台市役所前市民広場をフィニッシュとする全6区間38.1kmのコースへと変更され、令和初の女王には名城大が輝きました。

1区は中央大の五島莉乃選手が2位の京都産業大の橋本奈津選手に45秒差をつける快走を見せ、見事区間賞を獲得しました。2区では名城大の髙松智美ムセンビ選手が8人を抜きトップに立ちました。そ

して、3区では名城大の和田有菜選手と大東文化大の鈴木優花選手が中継所付近でデッドヒートを繰り広げましたが、和田選手がトップを守り抜きました。4区以降は名城大が独走し、山本有真選手が2位との差を2分以上に広げ、5区の加世田梨花選手は区間賞を獲得。勢いそのままアンカーの荒井優奈選手も区間2位の快走でフィニッシュテープを切りました。4区でトラブルに見舞われた大東文化大は2位、次に立命館大がフィニッシュ。松山大は昨年より1つ順位を上げて4位となりました。4区の小松優衣選手は1年生ながら果敢に区間賞を狙いましたが、惜しくも区間2位に。以下、日本体育大、城西大、大阪学院大。そして、8位の関西大は前回12位だった雪辱を果たし、見事シード権を獲得しました。

2019年12月30日(日)に富士宮市~富士市にて開催される「2019全日本大学女子選抜駅伝競走」の参加を希望する本大会の上位12校が、参加権を獲得しました。

毎年こうして本大会を無事に開催することができるのも、主催の読売新聞社、共催の仙台市、特別協賛のスターツグループ、ご協賛いただいている関係各

社、運営協力の東北学生陸 技連盟、宮城陸上党競技連盟、宮城陸上党競技連盟、宮城陸上で 協会、仙台市スポーツをといると があたいとするとと深く以関力 があることと深く以関わると があるよりとなる。 来年側、関わるようで、 場連をを はじめ、 られるようで、 とます。 とないたします。 とないたします。 とないたします。 とないたします。



隙のないタスキリレーで史上3校目の3連覇を成し遂げた名城大

大会報告 9

向上と進展会報157.indd 9 2020/01/05 17:57



髙松智美ムセンビ (左) と和田有菜の2年生コンビが 今回も爆走



4区の1年生・山本有真(左)が独走態勢を築き、エース・加世田梨花が初の区間賞で優勝を決定づけた



1年生アンカー・荒井優奈が悠々と逃げ切り、右手で「3」を示してフィニッシュテープを切った



至近6大会で5度2位の大東文化大は初優勝に向けて3区終了時でトップ・名城大と3秒差の2位につけたが、4区の秋山祐妃がレース途中で過呼吸になるアクシデントがあって4位に後退。5区の主将・関合夏希(写真)が意地の2人抜きで順位を戻したが、3年連続の2位に甘んじて創部10年目での悲願達成はならず



2016年大会覇者の松山大が4位に 入り、2年連続のシード権獲得。写 真は2区区間2位と好走した西山末 京は (左) から3区・大谷菜南子への タスキリレー





1区の工藤杏華(左)が3位の好位置で滑り出した日本体育大が5位で2年ぶりシード獲得。右は2区の赤堀かりん



6位の城西大も2年ぶりシード 復帰。写真は区間賞に輝いたア ンカーの主将・三ツ木桃香



6年連続でシード権を獲得した7 位の大阪学院大。写真は区間2 位タイと好走した4区・野崎光



8位に入って2年ぶりのシード権 をつかんだ関西大のアンカー・ 小田真帆



1区で他を圧倒、ユニバーシアード10000m銀メダルの実力を示した中央大の五島莉乃

10 大会報告

向上と進展会報157.indd 10 2020/01/05 17:57

第37回全日本大学女子駅伝対校選手権大会 成績

2019年10月27日(日) 宮城・仙台市 弘進ゴムアスリートパーク仙台〜仙台市役所前市民広場

7,5,6,4					3 弘進コムアスリー		
チーム名	1 ⊠ (6.6km)	2区 (3.9km)	3区 (6.9km)	4⊠ (4.8km)	5区 (9.2km)	6区 (6.7km)	総合成績 (38.1km)
①名城大学	小林 成美(1) (9) 21.55 (9) 21.55	髙松智美ムセンビ(2) (1) 34.15	和田 有菜(2) (1) 56.03 (2) 21.48	山本 有真(1) (1) 1.11.50 (1) 15.47	加世田梨花(3) (1) 1.41.39 (1) 29.49	荒井 優奈(1) (1) 2.04.34	2.04.34
②大東文化大学	吉村 玲美(1) (5) 21.46 (5) 21.46	北脇 亮子(4) 34.22	鈴木 優花(2) (2) 56.06 (1) 21.44	秋山 祐妃(3) (4) 1.14.06 (22) 18.00	関谷 夏希(4) (2) 1.43.59 (2) 29.53	山賀 瑞穂(1) (2) 2.07.05	2.07.05
③立命館大学	御崎 舞(2) (16) 22.29 (16) 22.29	飛田 凜香(1) (10) 34.58	真部 亜樹 (4) (6) 57.53 (3) 22.55	三浦佑美香 (4) (6) 1.14.19 (4) 16.26	佐藤 成葉 (4) (4) 1.44.29 (4) 30.10	高安 結衣(1) (3) 2.07.37	2.07.37
④松山大学	鈴木 樺連(2) (11) 22.07 (11) 22.07	西山未奈美(2) (5) 34.33	大谷菜南子 (2) (4) 57.43 (6) 23.10	小松 優衣(1) (2) 1.13.55 (2) 16.12	岡田 佳子(4) (3) 1.44.19 (5) 30.24	大内 もか(2) (4) 2.07.45	2.07.45
⑤日本体育大学	工藤 杏華(3) (3) 21.41 (3) 21.41	赤堀かりん(1) (2) 34.22	村上 愛華(3) (3) 57.39 (9) 23.17	花野 桃子(3) (5) 1.14.15 (5) 16.36	一瀬 美結 (2) (5) 1.45.28 (10) 31.13	中村 朱里(1) (5) 2.08.40 (6) 23.12	2.08.40
⑥城西大学	小笠原晴季 (4) (20) 22.51 (20) 22.51	藤村 華純(1) (16) 35.56	森尻 真優(1) (15) 59.45 (11) 23.49	渡辺 光美(1) (15) 1.16.26 (6) 16.41	福嶋 摩耶(1) (7) 1.46.24 (3) 29.58	三ツ木桃香(4) (6) 2.09.09	2.09.09
⑦大阪学院大学	高谷 愛奈(4) (6) 21.47 (6) 21.47	室伏 香音(2) (6) 34.46	加藤詩帆加 (2) (5) 57.50 (4) 23.04	野崎 光(1) (3) 1.14.02 (2) 16.12	岡本奈々依 (4) (6) 1.45.51 (16) 31.49	戸田 朱音(3) (7) 2.09.34	2.09.34
⑧関西大学	柳谷 日菜(2) (7) 21.51 (7) 21.51	木下 茜(1) (9) 34.56	渡邉 桃子(3) (7) 58.03 (5) 23.07	津田 夏実(4) (7) 1.15.13 (16) 17.10	澤井いずみ(3) (8) 1.46.28 (11) 31.15	小田 真帆(2) (8) 2.10.00	2.10.00
⑨大阪芸術大学	山本明日香 (4) (15) 22.26 (15) 22.26	宮永 光唯(2) 5 (14) 35.35 6 (12) 13.09	長濱夕海香(3) (9) 58.46 (7) 23.11	奥村 純夏(3) (9) 1.15.38 (12) 16.52	長山 夢芽(4) (10) 1.46.41 (7) 31.03	志村野々花(3) (9) 2.10.32	2.10.32
⑩東京農業大学	保坂野恋花(4) (8) 21.55 (8) 21.55	(8) 13.00	柴原 佑紀(2) (10) 58.56 (17) 24.01	土亩 佳奈(4) (10) 1.15.45 (9) 16.49	高橋ひより(2) (11) 1.47.13 (13) 31.28	(9) 23.29	2.10.42
⑪東洋大学	田浦英理歌(2) (4) 21.42 (4) 21.42	後藤 藍子(1) 2 (7) 34.51 2 (12) 13.09	渡辺 早紀(2) (11) 59.10 (20) 24.19	山口いずみ(4) (11) 1.15.55 (7) 16.45	和田美々里(3) (9) 1.46.35 (6) 30.40	伊東明日香 (2) (11) 2.10.51 (19) 24.16	2.10.51
⑫佛教大学	芝本 涼花(2) (13) 22.24 (13) 22.24	1 (20) 13.39	川村 楓(4) (13) 59.18 (8) 23.15	青松 真那(2) (12) 1.16.11 (13) 16.53	山﨑 夢乃(3) (12) 1.47.23 (9) 31.12	(18) 24.14	2.11.37
⑬京都産業大学	橋本 奈津(4) (2) 21.40 (2) 21.40	(6) 12.46	安井 佳苗(2) (8) 58.21 (14) 23.55	豊田 理瑚(1) (8) 1.15.21 (14) 17.00	安田 萌加(2) (13) 1.47.56 (20) 32.35	(15) 23.52	2.11.48
⑭東北福祉大学	古川 恵里(4) (14) 22.25 (14) 22.25	金澤 佳子(1) 5 (12) 35.35 6 (15) 13.10	三浦 佳奈(3) (14) 59.32 (16) 23.57	武内わかな(1) (13) 1.16.19 (8) 16.47	小高 夏綺(2) (14) 1.48.15 (18) 31.56	(11) 23.35	2.11.50
⑤福岡大学	黒石 瑠香(1) (17) 22.40 (17) 22.40	(19) 13.33	塚本 真夕(1) (20) 1.00.38 (21) 24.25	長與 桜子(2) (17) 1.17.28 (10) 16.50	井手 彩乃(3) (18) 1.49.36 (19) 32.08	(3) 22.57	2.12.33
⑯玉川大学	鈴木 真実(3) (18) 22.42 (18) 22.42	2 (8) 13.00	中元寺 舞(1) (18) 1.00.09 (22) 24.27	端山 絢音(3) (19) 1.17.37 (21) 17.28	小汲 紋加(3) (15) 1.48.56 (12) 31.19	(12) 23.42	2.12.38
⑪神戸学院大学	広内 来幸(1) (22) 23.07 (23) 23.07	(17) 13.26	中西 未海(1) (19) 1.00.23 (12) 23.50	吉村 唯(1) (18) 1.17.37 (18) 17.14	小川 那月 (2) (17) 1.49.27 (17) 31.50	(7) 23.26	2.12.53
⑱中京学院大学	林 望乃佳(1) (19) 22.43 (19) 22.43	(16) 13.20	松本 七海(1) (21)	青島 祐実(2) (20) 1.18.13 (19) 17.23	金城かれん (2) (20) 1.49.48 (14) 31.35	(15) 23.52	2.13.40
⑩中央大学	五島 莉乃(4) (1) 20.55 (1) 20.55	(26) 14.40		大塚 沙弥 (2) (16) 1.16.38 (11) 16.51	渡邉 美優 (2) (19) 1.49.43 (22) 33.05	(20) 24.23	2.14.06
②拓殖大学	佐野英里佳 (3) (10) 21.56 (10) 21.56	(12) 13.09	(19) 24.13	笹川 葉名(3)(14) 1.16.23(15) 17.05清水 里名(2)	水沼 結衣(3) (16) 1.49.00 (21) 32.37	(22) 25.31	2.14.31
②兵庫大学	山本 千絵(3) (23) 23.23 (24) 23.23	3 (21) 13.47	前田久瑠実(2) (24) 1.02.12 (24) 25.02	(22) 1.19.25 (17) 17.13	大東 優奈(4) (22) 1.50.35 (8) 31.10	(17) 24.07	2.14.42
②札幌国際大学	青山 伶緒(3) (24) 23.33 (25) 23.33	(18) 13.31	阿部麻莉亜 (2) (22) 1.00.56 (13) 23.52	村雲 央佳(2) (21) 1.18.23 (20) 17.27	中塚世莉菜 (3) (21) 1.50.02 (15) 31.39	(21) 24.52	2.14.54
②新潟医療福祉大学	吉田 千紘(2) (21) 23.02 (22) 23.02	2 (24) 14.17	保科 琴音(1) (23) 1.01.15 (15) 23.56	田中 優麻(1) (24) 1.20.02 (23) 18.47	鈴木こなつ(1) (24) 1.54.43 (25) 34.41	(23) 2.20.21 (23) 25.38	2.20.21
29石巻専修大学	齋藤 凜(1) (12) 22.11 (12) 22.11	(23) 14.15	戸澤 愛織(1) (17) 1.00.02 (10) 23.36	佐藤 佳乃(1) (23) 1.19.31 (25) 19.29	千葉彩有花 (2) (23) 1.53.39 (23) 34.08	(26) 27.59	2.21.38
30環太平洋大学	堀尾 和帆(2) (25) 23.46 (26) 23.46	(22) 13.50	近藤 紗貴(2) (25) 1.04.09 (26) 26.33	小野理央奈(1) (25) 1.23.50 (26) 19.41	沖野 楓 (4) (25) 1.58.08 (24) 34.18	(25) 26.15	2.24.23
東北学連選抜 (オープン)	栗原 唯 (M2) (東北大学) 22.53	(秋田大学) 37.17	模 (山形大学) 1.03.37	前山 優花(3) (青森県保健大学) 1.23.04	三上 爽子(4) (弘前大学) 1.58.06	高橋 葵(3) (岩手大学) 2.24.02	2.24.02
過去最高記録	(21) 22.53 今大会から 新コース	3 (25) 14.24 今大会から 新コース	(25) 26.20 今大会から 新コース	(24) 19.27 高見沢里歩 (松山大学) 15.38 (16 年)	(26) 35.02 太田 琴菜 (立命館大学) 29.24 (15年)	(24) 25.56 今大会から 新コース	今大会から 新コ ー ス

常任幹事 二見 百香

1. 大 会 名: 秩父宮賜杯第51回全日本大学駅伝対

校選手権大会

2. 大会期日: 2019年11月3日(日)

3. 場 所:愛知県·三重県 熱田神宮西門前~

伊勢神宮内宮宇治橋前

4. エントリー数: 25 校・日本学連選抜チーム・東

海学連選抜チーム

5. 大会総括

秩父宮賜杯第51回全日本大学駅伝対校選手権大会が11月3日に、熱田神宮西門前から伊勢神宮内宮宇治橋前までの全8区間106.8kmで行われました。大会当日は晴天に恵まれる秋らしい気候の中、全27チームが爽やかに伊勢路を駆け抜けました。

1区で城西大の荻久保寛也選手が区間賞を獲得し、2区では東京国際大の伊藤達彦選手が区間新の快走で14位からトップへ急上昇。3区では東洋大の相澤晃選手が従来の区間記録を1分08秒更新する力強い走りで10人抜きを達成し、11位から首位に浮上しました。

5区では國學院大の青木祐人選手が4年生として 意地の走りをし、区間新記録で区間賞を獲得。7区 では駒澤大の田澤廉選手が1年生とは思えない堂々 とした走りで区間賞に輝きました。前回王者の青山 学院大が吉田圭太選手の力走でチームを先頭へ押し 上げました。最終区まで勝負の行方がわからない展 開となりましたが、アンカー8区で東海大の名取僚 太選手がトップに立ち、5時間13分15秒で16年ぶ り2回目の優勝を果たしました。

前回大会からシード権は上位8校に与えられることになり、東海大、青山学院大、駒澤大、東京国際大、東洋大、早稲田大、國學院大、帝京大がシード校として来年度の大会に出場します。また、今大会は区間新記録が4つ誕生し、大いに盛り上がるレースでありました。このような熾烈な戦いの中、最も活躍した選手に送られるMVP賞は東海大の名取選手が受賞しました。

全日本大学駅伝を制した東海大のアンカー・名取燎太選手

年々注目が高まっているこの全日本大学駅伝から、2020年東京オリンピックや世界陸上など、世界に羽ばたく選手が出ることを期待しています。



12 大会報告

向上と進展会報157.indd 12 2020/01/05 17:57



東海大の1区と2区は4年生コンビが担当。1区 の小松陽平(左)は先頭から9秒差の3位と 上々のスタートを切り、2区の西川雄一朗は区 間10位で順位を3つ落としながらも先頭との 差を23秒にとどめた



出雲駅伝 (4区区間2位) に続いて出走した2 年生の市村朋樹 (右) が5区 (区間7位) で先 頭を奪取。タスキを受けた郡司陽大も区間賞 (区間新) の力走で後続との差を54秒まで広 げた



7区の松尾淳之介(手前)は区間8位と苦戦して青山学院大の吉田圭太に逆転を許したものの、2秒差でタスキを渡して最低限の役割を果たした



3年生では名取のほか、3区と4区では塩澤稀タ(写真左の右)と西田壮志が活躍。塩澤は前回大会で館澤亨次が樹立した区間記録を12秒上回る区間3位タイの走りで順位を6位から3位ヘジャンプアップ。西田は4区区間賞の快走で前を走る城西大を抜き去り、先頭の東洋大まで26秒差に迫った

2003年以来2度目の優勝となった東海大。両角速駅伝監督(後列左端)は2017年の出雲駅伝、2019年1月の箱根駅伝を制しており、これで学生三大駅伝すべてで優勝を飾った史上8人目の指揮官となった

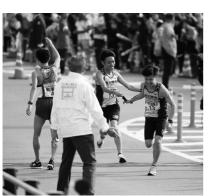


大会報告 13

向上と進展会報157.indd 13 2020/01/05 17:57



前回覇者の青山学院大は最終8区で逆転を許して2位。 7区の吉田圭太が区間2位タイの力走で首位の東海大との1分03秒差をひっくり返したものの、前半4区間 が区間5~9位と振るわなかったのが誤算だった



初出場の東京国際大が4位に食 い込む大健闘。2区(11.1km)の 伊藤達彦(左)はコース変更が あった前回の区間記録を51秒も 上回る31分17秒の激走で14位から一気に首位へ。学生三大駅伝ではチームとして初めて先頭でタ スキを渡した。右は3区の芳賀宏 太郎

東洋大は2区と5区で区間ふたケタ順位を出すなど安定感を欠いて5位。3区ではエースの相澤晃(右)が10kmを27分48秒で通過する驚異的なペースで11.9km を突っ走り、従来の区間記録を1 分08秒も更新。区間2位に55秒 差をつけるダントツの区間賞で11 位から首位に躍進した。左は4区 で区間2位だった今西駿介







5年ぶりV奪還を狙った駒澤大は中盤の失速が響いて総合3位。7区(17.6km) ではルーキーの田澤廉が52分09秒で区間賞を獲得する快走でチームを8位か ら4位まで押し上げた



1区18位と大きく出遅れた帝京大 は2区から徐々に順位を上げ、8位 で2年連続シードを死守した。写 真はアンカーの小森稜太



6区終了時で2位と善戦した順天 堂大は9位。5区では駅伝主将の 藤曲寛人が区間2位(区間新)と

全日本大



好走した



箱根駅伝予選会で敗退した城西 大はエース・荻久保寛也(左)が スはエース・秋久保見也(左)か 27分49秒で1区(9.5km)をトップで中継。総合では13位にとど まったものの、前回の2区に続く 区間賞に輝いてをアピールし た。右は2区の菊地駿弥



14 大会報告

向上と進展会報157.indd 14 2020/01/05 17:57

秩父宮賜杯第51回全日本大学駅伝対校選手権大会 成績

2019年11月3日(日)愛知県・三重県 熱田神宮西門前〜伊勢神宮内宮宇治橋前 上段=総合成績 下段=区間成績

チーム名	1 区 (9.5km)	2区 (11.1km)	3区 (11.9km)	4 ⊠ (11.8km)	5区 (12.4km)	6区 (12.8km)	7⊠ (17.6km)	8区 (19.7km)	総合成績 (106.8km)
①東海大学	小松 陽平(4) (3) 27.58	西川雄一朗 (4) (6) 1.00.00		西田 壮志(3) (2) 2.07.51			松尾淳之介(4) (2) 4.15.29	名取 燎太(3) (1) 5.13.15	5.13.15
②青山学院大学	(3) 27.58 湯原 慶吾(2) (7) 28.07	(10) ●32.02 岸本 大紀(1) (5) 59.58	(3) ●33.57 神林 勇太(3) (7) 1.34.25	(1) 33.54 鈴木 塁人(4) (8) 2.09.02	(7) 36.43 吉田 祐也(4) (7) 2.45.34	(1) ●37.26 中村 友哉(4) (3) 3.23.03	(8) 53.29 吉田 圭太(3) (1) 4.15.27	(2) 57.46 飯田 貴之(2) (2) 5.14.59	5.14.59
	(7) 28.07 中村 大聖(4)	(5) ●31.51	(9) 34.27 神戸 駿介(3)	(7) 34.37 伊東 颯汰(3)	(3) 36.32 中村 大成(4)	(2) 037.29	(2) 52.24 田澤 廉(1)	(7) 59.32 山下 一貴(4)	3.14.33
③駒澤大学	(2) 27.57 (2) 27.57	(2) 59.48 (5) ●31.51	(10) 1.35.03 (16) 35.15	(10) 2.09.58 (10) 34.55	(9) 2.46.39 (6) 36.41	(8) 3.24.49 (4) 38.10	(4) 4.16.58 (1) 52.09	(3) 5.15.04 (3) 58.06	5.15.04
④東京国際大学	山谷 昌也(1) (14) 28.20 (14) 28.20	伊藤 達彦(4) (1) 59.37 (1) ●31.17	芳賀宏太郎(2) (5) 1.34.07 (11) 34.30	相沢 悠斗(4) (7) 2.08.58 (9) 34.51	真船 恭輔(4) (6) 2.45.33 (4) 36.35	山瀬 大成(4) (7) 3.24.21 (10) 38.48	内山 涼太(4) (6) 4.18.21 (12) 54.00	L.ムセンビ(1) (4) 5.15.35 (1) 57.14	5.15.35
⑤東洋大学	渡邉 奏太(4) (6) 28.05 (6) 28.05	大澤 駿(3) (11) 1.00.17 (12) 32.12	相澤 晃(4) (1) 1.33.18 (1) ●33.01	今西 駿介(4) (1) 2.07.25 (2) 34.07	西山 和弥(3) (2) 2.44.53 (11) 37.28	前田 義弘(1) (5) 3.23.28 (9) 38.35	定方 駿(4) (3) 4.15.52 (2) 52.24	宮下 隼人(2) (5) 5.15.40 (8) 59.48	5.15.40
⑥早稲田大学	井川 龍人(1) (16) 28.21 (16) 28.21		中谷 雄飛(2) (8) 1.34.30 (6) 34.21	千明龍之佑 (2) (4) 2.08.38 (3) 34.08	太田 直希(2) (5) 2.45.14 (5) 36.36	鈴木 創士(1) (6) 3.23.38 (6) 38.24	新迫 志希(4) (5) 4.17.13 (9) 53.35	吉田 匠(3) (6) 5.17.04 (9) 59.51	5.17.04
⑦國學院大学	島﨑 慎愛(2) (12) 28.17	浦野 雄平(4) (4) 59.55	藤木 宏太(2) (9) 1.34.43	中西 大翔(1) (6) 2.08.57	青木 祐人(4) (4) 2.45.03	中西 唯翔(1) (4) 3.23.15	茂原 大悟(4) (7) 4.18.30	土方 英和(4) (7) 5.17.34	5.17.34
⑧帝京大学	(12) 28.17 田村 丈哉(4) (18) 28.23	(16) 1.01.22	(12) 34.48 小野寺 悠(3) (13) 1.35.49	(4) 34.14 岩佐 壱誠(4) (13) 2.10.57	(1) ●36.06 橋本 尚斗(2) (13) 2.48.06	(5) 38.12 中村 風馬(2) (10) 3.26.33	(17) 55.15 星 岳(3) (9) 4.19.37	(5) 59.04 小森 稜太(4) (8) 5.19.38	5.19.38
⑨順天堂大学	(18) 28.23 野口 雄大(3) (4) 27.59	(17) 32.59 橋本 龍一(4) (3) 59.50	(9) 34.27 清水 颯大(3) (4) 1.34.02	(13) 35.08 小畠隆太郎(4) (5) 2.08.49	(8) 37.09 藤曲 寛人(4) (3) 2.44.56	(8) 38.27 西澤 侑真(1) (2) 3.22.54	(6) 53.04 澤藤 響(3) (8) 4.19.13	(11) 1.00.01 鈴木 雄人(4) (9) 5.19.46	5.19.46
⑩中央学院大学	(4) 27.59 城田 航(4) (9) 28.11	(5) ●31.51 川村 悠登(4) (15) 1.01.07	(5) 34.12 吉田 洸汰(2) (17) 1.36.39	(8) 34.47 高橋 翔也(3) (14) 2.11.01	(2) ●36.07 藤井 雄大(4) (14) 2.48.16	(3) 37.58 有馬 圭哉(4) (11) 3.26.42	(21) 56.19 長山 瑞季(4) (11) 4.20.36	(13) 1.00.33 石綿 宏人(3) (10) 5.20.06	5.20.06
	(9) 28.11 久納 碧(2)	(15) 32.56 鎌田 航生(2)	(18) 35.32 増田 蒼馬(4)	(5) 34.22 田辺 佑典(3)	(9) 37.15 清家 陸(2)	(7) 38.26 岡原 仁志(4)	(11) 53.54 河田太一平(1)	(6) 59.30 青木 涼真(4)	
①法政大学	(13) 28.18 (13) 28.18 岡田 浩平(3)	(10) 1.00.15 (8) ●31.57 高畑 祐樹(4)	(12) 1.35.23 (15) 35.08 前川 紘導(3)	(12) 2.10.25 (12) 35.02 山田 真生(1)	(12) 2.48.05 (12) 37.40 高畑 凌太(2)		(15) 4.21.36 (13) 54.09 吉岡 遼人(3)	(11) 5.20.14 (4) 58.38 今井 崇人(4)	5.20.14
⑫立命館大学	(11) 28.15 (11) 28.15 荻久保寛也(4)	(9) 1.00.13 (9) ●31.58 菊地 駿弥(3)	(11) 1.35.17 (13) 35.04 菅原 伊織(3)	(11) 2.10.18 (11) 35.01 松尾 鴻雅(2)	(11) 2.48.01 (13) 37.43 大里 凌央(3)	(13) 3.27.07 (12) 39.06 西嶋 雄伸(4)	(10) 4.20.29 (7) 53.22 田部 雄作(3)	(12) 5.21.21 (15) 1.00.52 宮澤 真太(4)	5.21.21
③城西大学	(1) 27.49 (1) 27.49	(7) 1.00.01 (12) 32.12	(2) 1.33.57 (2) ●33.56	(3) 2.08.19 (5) 34.22	(8) 2.46.15 (17) 37.56	(9) 3.25.50 (17) 39.35	(13) 4.21.09 (18) 55.19	(13) 5.21.29 (12) 1.00.20	5.21.29
⑭日本体育大学	池田 耀平(3) (8) 28.09 (8) 28.09	(17) 1.01.30 (18) 33.21	中川 翔太(4) (14) 1.35.53 (7) 34.23	加藤 広之(2) (15) 2.11.10 (15) 35.17	野上 翔大(3) (15) 2.49.03 (16) 37.53	大内 宏樹(2) (15) 3.28.09 (12) 39.06	山口 和也(4) (12) 4.21.08 (4) 52.59	太田 哲朗(3) (14) 5.21.46 (14) 1.00.38	5.21.46
⑤明治大学	小袖 英人(3) (5) 28.04 (5) 28.04	手嶋 杏丞 (2) (14) 1.01.02 (16) 32.58	河村 一輝 (4) (15) 1.36.17 (16) 35.15	前田 舜平(3) (16) 2.11.34 (15) 35.17	村上 純大(3) (16) 2.49.17 (13) 37.43	富田 峻平(1) (16) 3.28.32 (15) 39.15	鈴木 聖人(2) (14) 4.21.34 (5) 53.02	三輪 軌道(4) (15) 5.23.51 (20) 1.02.17	5.23.51
⑥拓殖大学	竹蓋 草太(2) (19) 28.40 (21) 28.40	R.レメティキ(1) (13) 1.00.26 (3) ●31.46	赤﨑 暁(4) (6) 1.34.23 (3) ●33.57	佐々木虎太郎(1) (9) 2.09.36 (14) 35.13	吉原遼太郎(3) (10) 2.47.20 (15) 37.44	髙橋 達彦(2) (12) 3.27.00 (18) 39.40	清水 崚汰(3) (16) 4.22.32 (19) 55.32	中井 槙吾 (4) (16) 5.24.06 (17) 1.01.34	5.24.06
①関西学院大学	石井 優樹 (4) (17) 28.23 (17) 28.23		上田 颯汰(1) (16) 1.36.19 (8) 34.26	川島 貴哉 (4) (17) 2.11.38 (17) 35.19	藪野 正大(3) (17) 2.51.04 (21) 39.26	川田 信(3) (17) 3.30.12 (14) 39.08	志摩 銀河(3) (17) 4.26.51 (22) 56.39	藤井 大輔(4) (17) 5.29.51 (23) 1.03.00	5.29.51
⑱京都産業大学	宮下 朝光(4) (22) 29.04 (24) 29.04		松原渓士朗 (2) (23) 1.40.37 (24) 36.56	市川 佳孝(3) (22) 2.17.14 (23) 36.37	稲垣 雄二(3) (20) 2.55.52 (19) 38.38	船阪 圭市(3) (20) 3.37.44 (24) 41.52	泉 海地(2) (20) 4.32.25 (15) 54.41	黒川 大輔(4) (18) 5.33.18 (16) 1.00.53	5.33.18
⑩皇學館大学	上村 直也(3) (15) 28.20	川瀬 翔矢(3) (12) 1.00.24	山下 慧士(4) (18) 1.36.53	鈴木 翔也(2) (18) 2.13.18	市川 駿希(2) (18) 2.52.11	平山 寛人(3) (18) 3.33.48	平野 恵大(4) (18) 4.28.51	金谷 智顕(4) (19) 5.33.24	5.33.24
20札幌学院大学	(15) 28.20 字野 翔(3) (21) 28.55	(24) 1.03.41	(20) 36.29 佐々木祐介(4) (20) 1.39.59	(21) 36.25 幸谷 玲弥(2) (20) 2.17.01	(20) 38.53 田中 佑典(3) (21) 2.58.08	(22) 41.37 松坂 栄輝(3) (21) 3.38.22	(16) 55.03 L.グレ(2) (19) 4.31.57	(26) 1.04.33 野村 隼斗(3) (20) 5.35.08	5.35.08
②愛知工業大学	(23) 28.55 小林 宏輔(3) (20) 28.42	(19) 1.02.29		(19) 2.15.23	(19) 2.54.57				5.35.34
②環太平洋大学	(22) 28.42 実近 力丸(3)	(20) 33.47 土倉 稜貴(2)	(22) 36.45 小山 太一(2) (21) 1.40.15	(19) 36.09 平岡 錬(4) (21) 2 17 11	(22) 39.34 千原 康大(4) (23) 2.58.34	(19) 40.00 梅田 大輝(4)	(24) 57.46 熊井 康(1)	(22) 1.02.51 土居森 諒(4)	5.40.32
	(25) 29.04 森 悠人(3)	(23) 34.28 岩渕 健(5)	(21) 36.43 野崎 元貴(3)	(24) 36.56 南雲 光(3)	(25) 41.23 横山昇太郎(1)	(23) 41.43 松野 匠(4)	(25) 58.05 鈴木駿太郎(2)	(19) 1.02.10 鈴木 基史(MI)	
②新潟大学	(10) 28.13 (10) 28.13 白ケ澤優樹 (2)	(20) 1.02.47 (24) 34.34 川原林 廉(4)	(23) 37.38 前原 匠(1)	(24) 2.18.37 (26) 38.12 A.サレー(1)	(24) 3.00.03 (26) 41.26 久留須保壱(3)	(26) 42.55	(20) 56.00	(18) 1.02.03	5.41.01
29第一工業大学	(24) 29.07 (26) 29.07 畠山 駿斗(2)	(21) 1.03.18 (22) 34.11 三條 拓士(3)	(24) 1.41.22	(23) 2.17.34	(22) 2.58.22	(22) 3.40.15	(24) 4.38.58	(24) 5.43.13	5.43.13
②東北福祉大学	(25) 29.56 (27) 29.56	(25) 1.05.44	(25) 1.44.38	(25) 2.25.14	(25) 3.09.31	(25) 3.54.35	(25) 4.58.31	(25) 6.04.48	6.04.48
日本学連選抜 (オープン)	長谷川 柊 (4) (専修大学) 28.25	(駿河台大学) 1.01.17	(大阪体育大学) 1.36.23	(大阪経済大学) 2.12.14	(龍谷大学) 2.49.32	(東北大学) 3.28.25	(九州大学) 4.22.54	(東京農業大学) 5.22.54	5.22.54
東海学連選抜	(19) 28.25 横田 佳介(2) (中京大学)	(14) 32.52	(14) 35.06	(18) 35.51 戸村 将(4) (中京大学)	(10) 37.18 近藤 啓太(S2) (鈴鹿高専)	(11) 38.53 田村 陸(2)	(14) 54.29 石川 陽一(3) (愛知大学)	(10) 1.00.00 國司 寛人(D2) (名古屋大学)	
(オープン)	28.37 (20) 28.37	1.02.33 (21) 33.56	1.39.19 (23) 36.46	2.15.50 (22) 36.31	2.54.20 (18) 38.30	(中京大学) 3.35.27 (21) 41.07	4.30.00 (23) 57.33	5.35.26 (21) 1.02.26	5.35.26
過去最高記録	石井 優樹 (日本学連難/販売学) 27.25(18年)	荻久保寛也 (城西大学) 32.08(18年)	館澤 亨次 (東海大学) 34.09(18年)	塩尻 和也 (順天堂大学) 33.48(18年)	吉田 祐也 (青山学院大学) 36.23(18年)	吉田 圭太 (青山学院大学) 37.29(18年)	P.M.ワンブイ (日本大学) 50.21(18年)	M.J.モグス (山梨学院大学) 55.32(07年)	青山学院大学 5.13.11 (2018年)

【大会報告】 2019全日本大学女子選抜駅伝競走

常任幹事 古屋敷 律希

1. 大 会 名: 2019全日本大学女子選抜駅伝競走

2. 大会期日: 2019年12月30日(月)

3.場 所:静岡·富士市/富士宮市 富士山本 宮浅間大社前~富士総合運動公園陸

上競技場

4. エントリー数: 22 校・全日本大学選抜チーム・

静岡県学生選抜チーム 計24チーム

5. 大会総括

12月30日(月)、2019年を締めくくる駅伝大会である2019全日本大学女子選抜駅伝競走(2019富士山女子駅伝)が、静岡県の富士宮市・富士山本宮浅間大社前から富士市・富士総合運動公園陸上競技場までの7区間43.4kmで行われました。スタート前は小降りだった雨がレース中盤には本降りになる悪天候の中、第37回全日本大学女子駅伝の上位12校、5000mのタイムから選考された10校に全日本大学選抜チームと静岡県学生選抜チームを加えた計24チームが今年度も日本一を決めるのに相応しい激闘を繰り広げました。

前回、本大会で初優勝を遂げた名城大が連覇して、 10月に行われた第37回全日本大学女子駅伝との2年 連続大学女子駅伝2冠を達成するか、前回大会、10 月に行われた第37回全日本大学女子駅伝ともに2位 だった大東文化大が初優勝なるか、5度の優勝を誇 る立命館大が名城大の牙城を崩すかに注目が集まっ た今大会。1区では出場大学以外の最速ランナーで 結成された全日本大学選抜チームの金光由樹選手 (東海大)が名だたる強豪校を抑えて区間賞を獲得し ました。全日本大学選抜チームは、続く2区でも五島 莉乃選手(中央大)が区間新記録をたたき出して区間 賞。五島は前回も同区間で区間記録を更新しており、 2年連続で大会を大いに沸かせてくれました。3区 では、立命館大の御﨑舞選手が会心の走りで、見事 に区間新記録をマークし、トップの全日本選抜に迫 ります。4区では名城大の山本有真選手が区間新記 録で区間賞を獲得しましたが、立命館大の松本美咲 選手も同じく従来の区間記録を更新する走りで首位 に躍り出ました。

連覇を狙う名城大は、5区の加世田梨花選手が区間賞を獲得して首位に立つと、6区の1年生・小林成美選手が区間2位の選手に30秒以上の差をつけるダントツの区間賞。2位の全日本大学選抜に1分32秒差をつけてアンカー・和田有菜選手にたすきを渡しました。7区は高低差169mを駆け上がるハードなコースですが、和田選手は粘りの走りをし、大会2連覇を果たしました。名城大は2年連続の大学女子駅伝2冠を達成し、強さを見せつけました。なお、区間賞は東洋大の田浦英理歌選手が獲得しております。

2位には5区の関谷夏希選手、7区の鈴木優花選手が力走を見せた大東文化大が入りました。3位には3区まで首位を走り、各選手が粘り強い走りをした全日本大学選抜が、4位には要所で強さを見せた立命館大が入りました。以下、5位城西大、6位京都産業大、7位日本体育大、そして8位には大阪学院大という結果になりました。また、静岡県の中学・高校出身の選手で構成された静岡県学生選抜チームは、残念ながら最下位(24位)という結果ではありましたが、地元の大声援を後押しに、レースを沸かせました。

2019年の日本学連主催競技会はこの大会をもって終了致しました。トラック&フィールドや駅伝大会では、多くの好記録・名勝負が生まれた1年でした。オリンピックイヤーとなる2020年も多くの皆様のご支援・ご協力を賜りながら、日本学生陸上界の向上と進展のためにより一層の努力をしていく所存でございます。今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願い致します。



あいにくの冷雨となったが、24チームが執戦を繰り広げた



2年連続の大学女子駅伝2冠に輝いた名城大の選手たち。後列左端は米田勝朗監督



1区15位から追い上げた大東文化大が2年連続の2位を占めた。 写真はアンカーの鈴木優花



名城大は常に上位をキープしながら4区でトップとの差を詰め、3位でタスキを受けた5区のエース・加世田梨花(先頭)が区間トップの力走で一躍首位に立ち、独走態勢を築



アンカーの和田有菜がチーム メイトたちの声援を背に逃げ切り、連覇のフィニッシュへ



全日本大学選抜が3位に 食い込む大健闘。1区の 金光由樹(東海大、左) がトップ中継で流れを作 ると、2区の五島和を作 や大人)が2年連続区間新 の快走でチームを加速さ



最多5度の優勝を誇る立命館大は4区の松本美咲がトップに立つなど随所に見せ場を作ったが、 後半に崩れて4位にとどまる

大会報告 17

向上と進展会報157.indd 17 2020/01/05 17:57

2019全日本大学女子選抜駅伝競走 成績

2019年12月30日(月) 富士山本宮浅間大社前-富士総合運動公園陸上競技場 上段=通過タイム 下段=区間タイム ●=区間新

-			-317413	NIAMIN							上段=	通過タイム	卜段=	区間タイム	●=区間新
チーム名		1区 1km)	(6	2区 .8km)		3区 3km)		4⊠ .4km)		5区 .5km)		6区 6km)		7区 3km)	総合成績 (43.4km)
①名城大学	荒井 (4)	優奈① 13.00	髙松智	美ムセンビ② 34.28	井上 (3)	葉南② 44.41	山本 (3)			田梨花③ 1.33.27	小林 (1)	成美① 1.53.07	和田 (1)	有菜② 2.23.09	2.23.09
②大東文化大学	秋山 (15)	祐妃③ 13.27	(5) 吉村 (6)	21.28 玲美① 34.41	(2) 今井 (8)	10.13 彩月① 45.19	(1) 今泉 (5)	● 13.55 野乃香④ 59.43	(1) 関谷 (4)	34.51 夏希④ 1.34.45	<u>(1)</u> 山賀 (3)	19.40 瑞穂① 1.54.59	(4) 鈴木 (2)	30.02 優花② 2.24.25	2.24.25
	金光	由樹①	(3)	21.14 ; 莉乃④	(12) 樺沢	10.38	(3)	14.24 由佳梨③	(2) 杉浦和	35.02 恵乃加④	(3)	20.14 凜①	(2)	29.26 優奈④	2721130
③全日本選抜	(1)	毎大学) 12.50	(1)	中央大学) 33.30 ● 20.40	(1) (4)	應大学) 43.53 10.23	(2) (9)	戸大学) 58.32 14.39	(2) (6)	京大学) 1.34.18 35.46	(2) (4)	専修大学) 1.54.39 20.21	(3) (9)	車大学) 2.25.22 30.43	2.25.22
④立命館大学	田中 (8)	綾乃④ 13.10	佐藤 (2) (2)	34.02 20.52	御﨑 (2) (1)	舞② 44.09 ●10.07	松本 (1) (2)	美咲③ 58.14 ●14.05	三浦((3) (12)	右美香④ 1.34.44 36.30	高安 (4) (5)	結衣① 1.55.12 20.28	真部 (4) (7)	亜樹④ 2.25.45 30.33	2.25.45
⑤城西大学	藤村 (6)	華純① 13.05	渡辺 (9) (13)	! 光美① 34.55 21.50	今 (7) (3)	さつき④ 45.15 10.20	佐光 (7) (9)	菜々子④ 59.54 14.39	福嶋 (5) (3)	摩耶① 1.35.01 35.07	小笠/ (5) (2)	京晴季④ 1.55.14 20.13	三ツァ (5) (13)	木桃香④ 2.26.16 31.02	2.26.16
⑥京都産業大学	逸見 (7)	亜優① 13.06	安井 (8) (11)	佳苗② 34.52 21.46	川戸 (9) (16)	希望④ 45.39 10.47	豊田 (8) (6)	理瑚① 1.00.11 14.32	橋本 (6) (4)	奈津④ 1.35.22 35.11	安田 (6) (6)	萌加② 1.55.56 20.34	信岡 (6) (15)	桃英④ 2.27.27 31.31	2.27.27
⑦日本体育大学	赤堀が(3)	かりん① 12.56	中村 (4) (8)		花野 (5) (10)	桃子③ 45.11 10.37	村上 (4) (6)	愛華③ 59.43 14.32	一瀬 (9) (18)	美結② 1.36.48 37.05	平野 (8) (7)	文珠④ 1.57.23 20.35		彩智歩④ 2.27.38 30.15	2.27.38
8大阪学院大学	戸田 (10)	朱音③ 13.13	高谷 (7) (7)		田村 (6) (7)	幸希④ 45.12 10.29	室伏 (6) (8)	香音② 59.45 14.33		持帆加② 1.36.21 36.36	橋本 (9) (15)	晴圭③ 1.57.30 21.09	野崎 (8) (6)	光① 2.27.59 30.29	2.27.59
⑨順天堂大学	花田 (17)	咲絵③ 13.35	(16) (15)		辻田 (16) (20)	翔子① 46.26 10.58	髙橋 (13) (5)	優菜③ 1.00.53 14.27	松本 (12) (11)	奈々② 1.37.13 36.20	座間 (11) (12)	栞② 1.58.12 20.59		自佳子③ 2.28.48 30.36	2.28.48
⑩東洋大学	渡辺 (13)	早紀② 13.26		恵理菜④ 36.23 22.57	後藤 (21) (18)	藍子① 47.14 10.51		明日香② 1.02.10 14.56		美々里③ 1.38.48 36.38		ハずみ④ 1.59.37 20.49		英理歌② 2.28.54 29.17	2.28.54
⑪松山大学	小松 (5)	優衣① 13.01		未奈美② 35.06 22.05	奥山 (11) (10)	瑞希① 45.43 10.37		菜南子② 1.00.26 14.43	鈴木 (13) (16)	樺連② 1.37.28 37.02		彩衣琉② 1.59.04 21.36	岡田 (11) (3)	佳子④ 2.29.02 29.58	2.29.02
⑫東京農業大学	保坂野 (12)	野恋花④ 13.16		香名子① 35.29 22.13	浅田 (15) (17)	遥香① 46.19 10.50	柴原 (14) (13)	佑紀② 1.01.06 14.47	棟久 (11) (9)	由貴④ 1.37.02 35.56	(12) (16)	結衣③ 1.58.17 21.15	大澤 (12) (11)	由菜② 2.29.07 30.50	2.29.07
⑬鹿屋体育大学	日隈 (19)	彩美④ 13.51	中島 (12) (4)		浅田 (13) (14)	琴音④ 45.50 10.43	藤川 (9) (4)	遥③ 1.00.15 14.25		可奈子④ 1.35.44 35.29	木村 (7) (13)	美久④ 1.56.48 21.04		有紀子① 2.29.10 32.22	2.29.10
④大阪芸術大学	奥村 (9)	純夏③ 13.12		明日香④ 35.04 21.52	日吉 (10) (9)	鈴菜① 45.40 10.36	宮永 (11) (14)	光唯② 1.00.28 14.48	長山 (14) (19)	夢芽④ 1.37.42 37.14	永井 (13) (11)	智里④ 1.58.40 20.58		夕海香③ 2.29.27 30.47	2.29.27
⑤玉川大学	茅野 (11)	珠里① 13.13	鈴木		福田 (12) (5)	幸来① 45.44 10.24	端山 (15) (20)	絢音③ 1.01.11 15.27	小汲 (10) (7)	紋加③ 1.37.00 35.49	中元 (10) (9)	寿 舞① 1.57.46 20.46	大石 (15) (18)	楓④ 2.30.02 32.16	2.30.02
⑥佛教大学	芝本 (14)	涼花② 13.27	川村 (13) (12)		青松 (14) (19)	真那② 46.09 10.55	原田 (17) (24)	萌花① 1.01.55 15.46	山崎 (15) (8)	夢乃③ 1.37.47 35.52	田辺 (15) (17)	恋奈④ 1.59.07 21.20		真理子③ 2.30.15 31.08	2.30.15
⑪福岡大学	塚本 (23)	真夕① 14.21	黒石 (23) (19)		田中 (20) (13)	佑香② 47.13 10.40	大野 (21) (18)	美咲② 1.02.17 15.04	井手 (17) (10)	彩乃③ 1.38.14 35.57	長與 (18) (18)	桜子② 1.59.41 21.27	光恒 (17) (12)	悠里④ 2.30.39 30.58	2.30.39
⑱関西大学	木下 (21)	茜① 13.58	柳谷 (15)	日菜② 35.27	五味 (17)	尚子① 46.34	沖谷 (16)	友奈① 1.01.54	澤井い (18)	ハずみ③ 1.38.40	渡邉 (16)	桃子③ 1.59.22	小田 (18)	真帆② 2.31.59	2.31.59
⑨拓殖大学	佐野芽 (2)	英里佳③ 12.56	(6) 牛 (5)	21.29 佳慧① 34.39	(4)	11.07 ももか② 45.05	(12)	15.20 菜々恵① 1.00.32	(15) 水沼 (16)	36.46 結衣③ 1.38.03	(8) 渡会 (19)	20.42 紫野① 1.59.51	(20) 本間 (19)	32.37 玲樹① 2.33.16	2.33.16
②神戸学院大学	広内 (16)	来幸① 13.35	(9) 中西 (20)	36.17	(6) 平山 (23)	10.26 璃奈③ 47.35	(20) 松井 (24)	15.27 沙樹② 1.03.02	(21) ゾゾ川 (21)	37.31 那月② 1.40.04	(24) 西尾 (21)	21.48 咲良③ 2.01.35	(22) 池尻 (20)	33.25 栞菜③ 2.33.33	2.33.33
②東北福祉大学	金澤 (20)	佳子① 13.52	(24)	22.42 わかな① 36.47	(24) 植田 (24)	<u>11.18</u> 真央② 47.58	(20) 古川 (22)	15.27 恵里④ 1.02.42	(16) 田中 (24)	37.02 杏梨② 1.40.33	(19) 三浦 (22)	21.31 佳奈③ 2.01.41	(16) 土屋 (21)	31.58 里菜① 2.33.44	2.33.44
②②京都光華女子大学	猪阪 (24)	幸花① 14.26		36.09	(23) 水田 (22)	11.11 京佳① 47.17	(12) 古橋 (23)	14.44 亜巳④ 1.02.58	(23) 藤村 (22)	1.40.19	(14) 多田 (23) (20)	21.08 麻佑④ 2.01.53	(22)	32.03 まなえ② 2.34.37	2.34.37
②関西外国語大学	森崎 (22)	綾乃① 14.17	(9) 西出 (19)	21.43 優月② 36.13 21.56	(22) 矢尾 (18) (15)	11.08 桃子① 46.59	(23) 細江 (18) (16)	15.41 美玖② 1.01.59	(20) 中村 (20)	37.21 星香④ 1.39.42	(20) 自波 (20) (23)	21.34 頼千紘① 2.01.25	(21) 伊藤 (23) (23)	32.44 早紀④ 2.35.04	2.35.04
②静岡県選抜		日海来② 成大学) 13.43	(22)	華帆① 英学院大学) 36.30	朝日 (日本 (19)	10.46 春瑠② 体育大学) 47.03	丸山 (お茶の (19)	15.00 智子② 水女子大学) 1.02.06	(23)	37.43 千紘② 療福祉大学) 1.40.19	黒川 (名: (24)	21.43 ももか④ 城大学) 2.02.00	森野 (高) (24)	33.39 純夏② 知大学) 2.37.07	2.37.07
		澤安珠	(22)	22.47 急 莉乃	(8)	10.33	(17) 池戸	15.03	(24) 関谷	38.13	(22)	21.41	(24)	35.07 : 優花	名城大学

東京マラソン2020 準エリートの部への選手の推薦について

常任幹事 古屋敷 律希

1. 大 会 名: 東京マラソン 2020 2. 大会期日: 2020年3月1日(日)

3.場 所:東京都 東京都庁~東京駅前・行幸通り

4. 準エリート枠推薦について

2020年3月1日(日)に、東京マラソン2020が開催されます。本連合では、2019年3月10日に開催した第22回日本学生ハーフマラソン選手権大会、2019年3月17日に開催した第22回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会の結果をもとに、成績上位者(最大男子50名、女子30名)ならびに地区学連からの推薦競技者に、東京マラソン2020への出場希望を取り、今年度は25名(男子22名、女子3名)を準エリートの部へ推薦することとなりました(下記参照)。学生代表としての誇りを持った走りに期待します。また、この経験を糧に、2020東京オリンピックや世界選手権などの世界の舞台へとつながることを願っております。



at 多摩運送株式会社

株式会社ドリー三

KÖTÖBÜKIYA



2019年3月の日本学生ハーフと日本学生女子ハーフ の成績上位者から希望者が東京マラソン準エリート の部への推薦を受けた。写真は日本学生ハーフ優勝 の相澤晃(東洋大)

東京マラソン2020 準エリート推薦選手

1 SERVICE S											
氏名	所属	推薦タイム	氏名	所属	推薦タイム						
相澤 晃	東洋大学	1.01.45	新号 健志	青山学院大学	1.04.01						
吉田 圭太	青山学院大学	1.01.46	相馬 崇史	筑波大学	1.04.06						
土方 英和	國學院大學	1.02.02	竹石 尚人	青山学院大学	1.04.20						
小森 稜太	帝京大学	1.02.34	松尾鴻雅	城西大学	1.04.26						
川田 裕也	東京農業大学	1.03.02	金丸 逸樹	筑波大学	1.04.28						
飯田 貴之	青山学院大学	1.03.10	廻谷 賢	日本体育大学	1.04.28						
鳥飼 悠生	帝京大学	1.03.10	宮澤 真太	城西大学	1.04.32						
吉野 貴大	帝京大学	1.03.10	築舘 陽介	創価大学	1.04.48						
藤曲 寛人	順天堂大学	1.03.13	鈴木 基史	新潟大学	2.26.42 (フルマラソン)						
三上 多聞	早稲田大学	1.03.46									
平田 幸四郎	帝京大学	1.03.47	高橋 ひより	東京農業大学	1.15.33						
大濱 輝	中央学院大学	1.03.54	谷川 愛美	大阪学院大学	1.15.54						
阿部 涼	日本大学	1.03.54	平井 日陽	玉川大学	1.16.04						

※2018年10月1日から2019年9月30日の期間に突破した記録

公益社団法人日本学生陸上競技連合 第40回理事会 議事録

1. 開催された日時

令和元年9月12日(木) 12時55分~13時45分

2. 開催された場所

都ホテル岐阜長良川11階ダイヤモンド

3. 理事総数及び定足数

現在数 22名、定足数 12名

4. 出席理事数

22名

(出席) 青葉 昌幸、伊東 輝雄、岩元 慎一、

植田 恭史、蒲原 一之、澤木 啓祐、

三條 俊彦、関根 春幸、神尾 正俊、

栗山 佳也、黒須 雅弘、渋谷 俊浩、障子 恵、 杉山 喜一、鶴崎 健一、永井 純、長澤 光雄、 中島 剛、日隈 広至、外園 隆、松本 正之、

山下 誠、以上22名

(監事出席)山本 俊樹、久松 洋一

5.議 題

【協議事項】

第1号議案:2020年(89回)日本IC開催場所について ※2021年開催 第90回日本IC開催場所について

第2号議案:普通会員について 第3号議案:常任幹事の承認

第4号議案:2020世界大学クロスカントリー(マラケシュ)について

選手選考及び派遣役員

第5号議案:2022世界大学クロスカントリー福岡開催について

・開催概要 (案) 第6号議案:その他

【報告事項】

- ①会務の報告
- ②第30回ユニバーシアード(2019/ナポリ)について
- ③東京オリンピック・パラリンピック競技ボラン ティアについて
- ④2020東京マラソン 準エリート学生の部 推薦要項 について
- ⑤その他

6. 議事の経過及びその結果

(1)定足数の確認

会に先立ち、大西清司事務局長が定足数の充足を 確認した。

(2)議長及び議事録署名人

松本正之会長が議長となり、本会議の開会を宣した。

議事録署名人は、定款第33条に基づき、松本正之 会長、青葉昌幸副会長、久松洋一監事及び山本俊 樹監事となることが確認された。

(3)議案の審議状況及び議決結果等

【協議事項】

第1号議案「2020年(89回)日本IC開催場所について」 永井純専務理事から、資料に基づき、来年度の日本インカレ開催場所についての報告がなされた。 例年の流れでは来年度は関東であるが、明年は東京オリンピックが開催されるにあたり、首都圏エリアの主な競技場を使用することが出来ない。よって名乗りを上げている新潟県で令和2年に開催し、令和3年に関東での開催、令和4年に関西での開催が提案された。審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事全員一致で可決した。

第2号議案「普通会員について」

永井純専務理事から、資料に基づき、令和元年度 8月31日現在の普通会員の報告がなされた、前回 理事会の報告以降2,210名の入会を承認すること について提案があった。審議の結果、提案内容を 承認することを、出席理事全員一致で可決した。

第3号議案 「常任幹事の承認」

永井純専務理事から、資料の通り常任幹事の承認 について提案がなされた。審議の結果、提案内容 を承認することを、出席理事全員一致で可決し た。

第4号議案「2020世界クロスカントリー(マラケシュ)について・選手選考及び派遣役員」

永井純専務理事から、資料4に基づき、2020世界 大学クロスカントリー(マラケシュ)の選考要項 について提案があった。2020年度の世界大学クロ スカントリーは3月7日にモロッコのマラケシュ で行われる。2022年に福岡市での開催に向けて立 候補する予定であるため、スタッフとして団長に

20 会議報告

向上と進展会報157.indd 20 2020/01/05 17:57

山下理事、監督に米田強化委員(名城大)、コーチに岩本理事・鯉川強化委員、トレーナーについては後日決定、視察委員として、関根競技委員長、大西事務局長を予定したい。資料に基づき、山下理事から選考方法について提案があった。今回は第88回日本インカレの5000m、10000mの上位者から代表選手を選考する3000mSCの記録については、本大会は男女とも10kmであるので参考記録とする。また、5000m及び10000mの記録上位者からも選考する。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理 事全員一致で可決した。

第5号議案「2022世界大学クロスカントリー福岡開催について」

永井純専務理事より資料5に基づいて提案がなされた。第4号議案の中でも協議されたが、2022年に行なわれる世界大学クロスカントリーに立候補する予定である。費用についてはJOCと協議がなされており、約2400万円の予算を組んでいる。また、細かい企画については視察後に詳しく検討していく予定である。

松本会長: 予算について説明があったが不足分の 800万円はどのように工面するのか。

永井専務理事:スポンサーを見つける予定である。 しかし、予算の積み立てについては概算でしかな いので、今後細かく見積もっていきたい。

澤木副会長:テレビの映像収入としてはいかほどに なる予定か。

大西事務局長:現段階ではテレビ中継は考えていない。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理 事全員で可決した。

第6号議案「その他」 特になし。

【報告事項】

①会務の報告(令和元年5月11日以降)

永井純専務理事から、資料に基づき報告があった。6月15日に理事会があったため、6月16日以降の会務についての報告があった。特にユニバーシアード関連でのイベントが多くあったが、その他としては7月に行われた実業団対学生対抗戦である。前日に台風が上陸する予定であったが、当日は何事もなく無事に大会を終えることが出来

た。また東京オリンピック・パラリンピックの競技ボランティア打ち合わせや第88回日本 I Cの準備等つつがなく終えることが出来た。

②第30回ユニバーシアード (イタリア・ナポリ) について

栗山強化委員長から資料に基づき、第30回ユニバーシアード競技大会について報告があった。日本とは気候の違う中、厳しい戦いになることが予想されたが、予想に反して前回の台北大会よりも多くのメダルを獲得することが出来た。大型客船に選手村が設置されているという試みに戸惑いもしたが、トラブルもなく無事に帰国することが出来た。選考基準や選考方法などの課題は多く残ってはいるが、中国・成都で2021年に行われる次回大会にむけて今から取り組んでいきたい。

③東京オリンピック・パラリンピック競技ボラン ティアについて

関根競技委員長より東京オリンピック・パラリンピック学生競技ボランティアの意向調査についての報告があった。円滑な競技運営のために、学生が能力を発揮できる部署に配属できるように登録用紙の作成を依頼した。今後の日程・登録予定についても報告が行われた。今月末からドーハで世界陸上が行われるにあたってルール改正が行われるうえで、学生に改正を周知する機会を設けてほしいと依頼した。今後も組織委員会と話し合いを進めていく予定である。

④2020東京マラソン 準エリート学生の部 推薦要項について

永井純専務理事から、資料9に基づき説明があった。東京マラソンから男女合わせて50名の推薦枠を頂いている。毎年山下強化委員や大後強化委員を中心に行われている。また、本年度からエントリー費が10,800円から16,200円に上がった。

⑤その他

・永井専務理事より、2019年2月27日に行われた内閣府の立ち入り調査について報告がなされた。公印の取り扱い、出雲駅伝などの大きい金額が動く場合の契約書、事務局の決済に関する規定の3点について指摘を受けたことに対し、その後の改善に関する進捗調査があった。本連合は公益社団法人であるので実直な運営を行っていかなければならないことを改めて確認した。

・全日本大学駅伝地区選考会について

永井専務理事が朝日新聞社を訪問した際に、朝日 新聞社から支払われているお金は協賛金なのか補 助金なのか質問をした。朝日新聞社からは使い方 について、各地区学連に丁寧に説明しているとの ことであった。

日本インカレプログラムについて

勲功章・功労章の規程を改める提案が澤木副会長よりなされた。また同様にプログラム記載の勲功章・功労章の表現方法の見直しも提案された。これらは次回理事会で検討される予定である。

以上をもって議案の審議等を終了したので、13時 45分、議長は閉会を宣し、解散した。

資料

■2019年度 学生役員 常任幹事について

氏 名:公文 こころ(くもん こころ)

大 学:横浜市立大学国際教養学部 国際教養学科1年

出身高校:山梨県立甲府第一高等学校

高校時代:バスケットボール部 中学校時代:バスケットボール部

氏 名: 渡邉 稜太(わたなべ りょうた)大 学: 東洋大学 経営学部 経営学科1年

出身高校:名古屋市立桜台高校

高校時代:陸上部 中学校時代:陸上部

第22回世界大学クロスカントリー選手権大会(2020/マラケシュ)代表選手・役員派遣について22th World University Cross Country Championship in St. Gallen

日 程:2020年3月7日(土)

渡 航:2020年3月3日(火)~9日(月)日本着 7日間

会場:モロッコ/マラケシュ (Marrakech)

1. 編成方針

本大会において入賞が見込まれるとともに、今後の日本長距離界を担うことが期待され、学生トップレベルの競技力を有する競技者で編成する。

2. 選考方法

①天皇賜盃第88回日本学生陸上競技対校選手権大会(岐阜市)

5000m、10000mの上位者から代表選手を選考する。3000mSCの記録は参考とする。

② 5000m および 10000m 記録上位者

記録有効期間:2019年9月1日~2019年12月22日まで

3. 選手派遣人数

男子の部:5名~6名 女子の部:5名~6名

※団体の部:男子は上位4名、女子は上位4名の順位合計で競う(予定)

スタッフ(案)

 団長
 :山下 誠(理事)

 監督
 :米田 勝朗(強化委員)

コーチ : 岩元 慎一(理事、九州ヘッドコーチ)、 鯉川なつえ(強化委員)

トレーナー :後日決定

2022 開催視察要員 : 関根 春幸(常務理事-競技委員長)、大西 清司(事務局長)

4. 選考について

2019年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員のうち、上記選考競技会において上位の競技者から代表選手を選考する。ただし、原則として、2019年度に大学3年生以下の者で、日本国籍を有する者を対象とする。

22 会議報告

向上と進展会報157.indd 22 2020/01/05 17:57

資料 第23回世界大学クロスカントリー選手権大会/福岡大会概要(案)

1. 主催	世界大学スポーツ連盟 (FISU) 第23回世界大学クロスカントリー選手権大会組織委員会
2. 主管	公益社団法人日本学生陸上競技連合、
3. 後援	公益財団法人日本オリンピック委員会、日本ユニバーシアード委員会、 公益財団法人日本陸上競技連盟 福岡県(予定)、福岡市(予定)、国営海の中道海浜公園(予定)
4. 運営協力	一般財団法人福岡陸上競技協会、九州学生陸上競技連盟
5. 協賛	未定
6. 期日	2022年2月26日(土)
7. コース	国営海の中道海浜公園・クロスカントリーコース 住所:福岡県福岡市東区大字西戸崎18-25
8. 競技種目 (未定)	男子10km、女子10km、国別団体対抗 スタート時間 男子: 女子:
9. 参加資格	 参加国の国籍を有すること 生年月日1997年1月1日~2004年12月31日 ※2022年12月31日時点で18歳~25歳 各国に認定された高等教育機関に在籍又は2021年中(1月~12月)に学位取得/卒業したもの ※詳細は「REGULATIONS FOR WORLD UNIVERSITY CHAMPIONSHIPS」[5.2Participation] 参照
10. 競技規則	2022年世界陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項による。
11. 参加料	・一人 1 泊70ユーロ ・登録料として選手・役員 1 人につき20ユーロ/FIS Uが各国に請求 (FISU Registration Fee)
12. 参加申込	・オンライン登録/FISUのオンライン登録システムによりエントリーを行う
	 ・General Entry / 一般エントリー(参加意思表明) 大会開幕6か月前 ・デポジットの支払い/OCへ 大会開幕3か月前 ・Quantitative Entry / 数のエントリー(参加確認) 大会開幕3か月前 ・Individual Entry / 個人エントリー(参加状況) 大会開幕1ヶ月前 ※詳細は「REGULATIONS FOR WORLD UNIVERSITY CHAMPIONSHIPS」[5.4 Entry]参照
13. 表 彰	・第1位から第3位までの入賞者には賞状及びメダルを、第4位から第8位までの入賞者には賞状を贈与する。 ・福岡市内ホテルにて午後表彰式及びクロージングセレモニーを開催(案)
14. 宿泊	福岡市内ホテル 開村:2月23日 (水) in ~ 2月27日 (日) out (最大 4 泊まで)
15. 指定空港	福岡空港 ※福岡空港⇔ホテル、ホテル⇔レース会場のバス送迎を組織委員会が対応する。
16. ドーピング コントロール	ドーピングコントロールテストは世界アンチ・ドーピング機構及び日本アンチ・ドーピング機 構の規則に従い実施する。

資料 東京オリンピック・パラリンピック一学生競技ボランティア意向調査集計表 2019/ 8/13現在

地区学連	希望加盟校数	オリンピック	パラリンピック
北海道学連	3	4	1
東北学連	4	13	9
関東学連	27	347	195
北信越学連	1	5	0
東海学連	4	5	52
関西学連	7	32	14
中四国学連	3	13	12
九州学連	3	7	4
合計	52	426	287

会議報告 23

向上と進展会報157.indd 23 2020/01/05 17:57

資料

第38回理事会(2019年5月11日)以降の職務執行の状況報告

月日	行 事 (報告内容)
5月11日(土)	第38回理事会 於:中央大学駿河台記念館
5月13日(月)	第30回ユニバーシアード (2019/ナポリ) 派遣前手続き 於: JISS/NTC
5月15日(水)	2019日本学生個人選手権大会一番組編成会議 於:日本学連事務所
5月16日 (木) 5月16日 (木)	出雲駅伝実行委員会・準備会議 於:日本学連事務所 全日本大学女子駅伝-新コース検討 於:仙台市
5月16日(木)	※ 日本 八子 女 丁 駅 (ムー材) コー
5月17日(金)~19日(日)	東海インカレ視察(日本ICプレ大会)於:岐阜市
5月20日(月)	2019日本学生個人選手権大会—EP会議 於:日本学連事務所
5月21日(火)	日本オリンピック委員会打ち合わせ(ユニバーシアード) 於:JOC
5月22日(水)	全日本大学駅伝運営ミーティングがた:日本学連事務所
5月25日(土)	東海学連審判講習会(競技委員派遣) 於:名古屋市
5月30日(木)	日産スタジアムミーティング於:日産スタジアム
6月03日(月) 6月04日(火)	第59回実学対抗陸上 実行委員会 於:実業団陸上事務所 2022世界大学クロカン開催ミーティング 於:日本陸連事務所
6月04日(火)	競技委員会 於:日本学連事務所
6月07日(金)~8日(日)	2019日本学生個人選手権大会 於:平塚市
6月12日(水)	ユニバーシアード監督/メディカルミーティング 於:JOC/NTC
6月13日(木)	総務委員会 於:日本学連事務所
6月15日(土)	第11回定時社員総会 於:中央大学駿河台記念館
6月15日(土)	第39回理事会 於:中央大学駿河台記念館
6月18日(火)	指導者会議運営委員会 於:日本学連事務所 日本陸連 2012年
6月19日(水) 6月20日(木)~24日(月)	日本陸連-協力団体協議会 於:日本陸連事務局 香港インターシティー 於:香港
6月20日(木)	富士山女子駅伝実行委員会が:富士市
6月21日(金)~23日(日)	第72回西日本インカレ(日本学連共催大会) 於:西京極
6月25日(火)	2020東京マラソンー(準エリート学生)打ち合わせ 於:日本学連事務所
6月26日 (水)	2020オリパラ競技ボランティア打ち合わせ 於:日本学連事務所
6月28日(金)	ユニバーシアード日本選手団結団式 於:新高輪プリンスホテル
7月02日(火) 7月03日(水)	総務委員会 報道部会 於:日本学連事務所 ユニバーシアード陸上競技日本選手団結団式 於:新高輪プリンスホテル
7月03日(水) ~16日(火)	ユニバーシアード陸上競技日本選手団渡航 於:オポリ市
7月11日(木)	指導者会議運営委員会 於:日本学連事務所
7月19日(金)~21日(日)	第41回北日本インカレ(日本学連共催大会) 於:札幌市
7月24日 (水)	富士山女子駅伝 交通対策会議 於:富士市
7月24日 (水)	全日本大学駅伝・運営会議 於:日本学連事務所
7月27日(土) 7月29日(月)	第59回実学対抗陸上競技大会 於:平塚市
7月29日(月) 7月29日(月)	総務委員会 報道部会 於:日本学連事務所 第31回出雲駅伝実行委員会 於:出雲市
7月30日(火)	松江レディースハーフマラソン 実行委員会 於:松江市
	2020オリパラ競技ボランティア打ち合わせ 於:日本学連事務所
8月07日(水)	医事委員会(アウトリーチ) 於:日本学連事務所
8月19日(月)	総務委員会 報道部会 於:日本学連事務所
8月20日(火)	2020オリパラ競技ボランティア打ち合わせ 於:日本学連事務所
8月21日 (水) 8月26日 (月)	競技委員会 – Ep ミーティング 於:日本学連事務所 2022世界大学クロカン開催ミーティング 於:福岡/MIT事務所
8月26日(月)	日本IC番組編成会議 於:日本学連事務所
8月27日(火)	競技委員会 於:日本学連事務所
8月30日(金)	第88回日本インカレ 運営会議 於:名古屋市/朝日新聞社
8月30日(金)	全日本大学駅伝運営会議 於:名古屋市/朝日新聞社
9月02日(月)	第88回日本インカレ 審判主任会議 於:岐阜市/競技場
9月04日(水)	2020オリパラ競技ボランティア打ち合わせ 於:日本学連事務所
9月06日 (金) 9月12日 (木)	企画委員会 於:日本学連事務所 第40回理事会 於:岐阜市/都ホテル
37714 (N)	カコロド土 サム 水・水土巾/ 神か/ //

令和元年 学生役員会議

副幹事長 二見 百香

期 日:2019年12月7日(土) 12:00~14:00場 所:TKP品川カンファレンスセンター カンファレンスルーム4A

各地区学連の新旧幹部役員が集い、恒例の学生役 員会議が開催されました。一般的に、役員等の任期は 3月31日の年度末をもって終了となりますが、本連 合の4年生学生役員については後輩への引き継ぎや 学業との関係もあり、原則として12月31日をもって 活動終了としています。この会議では、新旧幹部役員 の引継ぎを行うとともに、令和2年2月~3月に行う 競技会運営と事務に関する研修を行いました。また、 同日に行われた理事会終了後には、理事・学生等を 交えた役員懇親会・卒業学生役員を送る会を行いま した。松本正之会長、澤木副会長のご挨拶に引き続 き、卒業予定の学生役員に記念品が贈られました。4 年生学生役員一人ひとりからは、学連活動を通じて の思い出や今後の進路、抱負などが述べられました。 最後に神尾副会長より労いのお言葉をいただき、盛 会のうちに終了いたしました。

【会議報告】

1. 令和2年の学生役員について

次年度4年生の二見百香が幹事長に推薦され、 新役員とともに理事会に提出しました。(令和2年 学生役員一覧は理事会資料として別項掲載)

2. 事務手続きについて

年度始めに必要な正会員の名簿等、各種書類の 提出を各地区学連に依頼しました。

3. 令和2年2~3月の日本学連主催・共催大会に ついて

来年2~3月に行われる日本学連主催・共催競技会4大会について、エントリー等の事務作業に関する説明をしました。

4. 普通会員登録について

会員登録作業に加え、スポーツ安全保険の適用 について説明しました。年々増加していく登録会員 を1人も取りこぼすことがないように登録業務の ルールの厳守と正確さを改めて確認しました。

5. 公認競技会申請及び記録公認申請について

来年度最初の公認競技会申請(令和2年2月締切)について、申請方法の周知や注意事項の周知徹底を行うとともに、記録の電子申請などを中心に、公認競技会申請ならびに記録公認申請の全体的な流れを説明しました。

6. 学生幹部役員研修会について

令和2年3月に行われる学生幹部役員研修会に向けて、協議事項案やそれまでの準備等について 提案、ならびに意見交換を行いました。

公益社団法人日本学生陸上競技連合 卒業学生役員一覧(2019年)

		K 3 — 1227) (= v · v · l /	
No.	氏名	日本学連役職	地区学連役職	所属大学
1	宮﨑 芽衣	2019年幹事長 2018年副幹事長 2016~2017年常任幹事		日本女子体育大学
2	黒井 文香	2017~2019年常任幹事		駒澤大学
3	阿部 洸	2018年常任幹事		東北大学
4	岡野 将成	2019年常任幹事		三重大学
5	菱山 悠太	2018年幹事	2018年北海道学連幹事長	北海道大学
6	瀬戸 一世		2018年北海道学連会計	北海道大学
7	鎌田 真衣	2018年幹事	2018年東北学連幹事長	宮城教育大学
8	瀧場 希		2018年東北学連会計	宮城教育大学
9	森菜々穂	2019年幹事 2018年幹事	2019年関東学連幹事長	早稲田大学
10	松重 美穂	2019年幹事 2018年幹事	2019年関東学連会計	駒澤大学
11	伊藤 舜	2019年幹事	2019年関東学連常任幹事	千葉大学
12	笹森 風花	2019年幹事	2019年関東学連常任幹事	順天堂大学
13	岩佐 捺伽	2018年幹事	2018年北信越学連幹事長	信州大学
14	小野塚未夏		2018年北信越学連会計	信州大学
15	坂入 慶一	2019年幹事	2019年東海学連幹事長	愛知教育大学
16	堀口 景祐	2019年幹事	2019年東海学連会計	愛知教育大学
17	三田村侑紀	2019年幹事 2018年幹事	2019年関西学連幹事長	京都大学
18	佐々木 努	2019年幹事	2019年関西学連会計	関西学院大学
19	西村 浩登	2018年幹事	2018年中国四国学連幹事長	広島大学
20	森 麟太郎		2018年中国四国学連会計	広島大学
21	吉田 裕彦	2018年幹事	2018年九州学連幹事長	九州大学
22	渡辺 千遥		2018年九州学連会計	九州大学

※連合役員経験者·地区三役経験者

公益社団法人日本学生陸上競技連合 第41回理事会 議事録

1. 開催された日時

令和元年12月7日(土) 15時02分~16時21分

2. 開催された場所

TKP品川カンファレンスセンター4 J

3. 理事総数及び定足数

現在数 22名、定足数 12名

4. 出席理事数

17名

(出席) 伊東 輝雄、植田 恭史、蒲原 一之、

神尾 正俊、栗山 佳也、澤木 啓祐、

三條 俊彦、渋谷 俊浩、障子 恵、杉山 喜一、 関根 春幸、鶴崎 健一、永井 純、中島 剛、

日隈 広至、松本 正之、山下 誠

(出席監事) 久松 洋一、山本 俊樹

(欠席) 青葉 昌幸、岩元 慎一、黒須 雅弘、 長澤 光雄、外園 隆

5.議 題

【協議事項】

第1号議案「本年度普通会員について(最終)」

第2号議案「令和2年度主要事業日程案について」

第3号議案「令和2年度学生役員候補者について」

第4号議案「令和2~3年度役員候補選出会議の構成メンバー及び役員候補選出スケジュールについて」

第5号議案「委員会規程改定について」

第6号議案「栄章に関する規程改定について」

第7号議案「公印取扱規程改定について」

第8号議案「令和2年~5年 地区学連正会員定数 について」

第9号議案「専門委員会メンバーの推薦及び正会員加入(枠)について」

第10号議案「陸上競技研究について」

第11号議案「理事・監事及び正会員に対する諸謝金 等の支給について |

【報告事項】

- ①会務報告について(令和元年9月12日以降)
- ②2019オランダ・ナイメーヘン/ヒルズ15kmロードレース報告
- ③各主催駅伝大会について(出枠等/視聴率)

- ④第65回指導者会議について
- ⑤2020オリンピック・パラリンピック競技ボランティアについて
- ⑥2020世界大学クロスカントリー選手権 (モロッコ/マラケシュ) について
- ⑦2022世界大学クロスカントリー選手権の状況に ついて
- ⑧ 2020 東京マラソン学生エントリーについて
- ⑨ その他
 - ・日本陸連情報 (スポーツ庁ガバナンスコード)
 - ・駅伝の留学生の扱いについて
 - ・第52回全日本大学駅伝/地区予選会経費について
 - ・日本IC競技日程の方向性について
 - ・事務手続きについて
 - ・令和2年2月~3月の主催競技会への役員派遣 について
 - ・関西学連において令和2年度に開催を検討して いる駅伝大会について

6. 議事の経過及びその結果

(1)定足数の確認

会に先立ち、大西清司事務局長が定足数の充足を 確認した。

(2)議長及び議事録署名人の選出

松本正之会長が議長となり、本会議の開会を宣した。

議事録署名人は、定款第33条に基づき、松本正之 会長、久松洋一監事及び山本俊樹監事となること が確認された。

(3)議案の審議状況及び議決結果等

【協議事項】

第1号議案「本年度普通会員について(最終)|

永井純専務理事から、資料に基づき、前回理事会 以降の普通会員の入会を承認することについて提 案があった。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理 事全員一致で可決した。

なお、本事項につき、以下の通り補足があった。 永井純専務理事: 各地区学連において少しずつ普

26 会議報告

向上と進展会報157.indd 26 2020/01/05 17:57

通会員数が減っており、全体で昨年度よりも455 名減となっている。再び回復することができるよう、各地区におかれても御配慮願いたい。

第2号議案「令和2年度主要事業日程案について」 永井純専務理事から、資料に基づき、令和2年度 主要事業日程を承認することについて提案があっ た。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理 事全員一致で可決した。

なお、本事項につき、以下の通り補足があった。

- 永井純専務理事:2021年3月7日の東京マラソン については、「2020東京マラソン」と記載されて いるが、「2021東京マラソン」に修正いただきた
- 第3号議案「令和2年度学生役員候補者について」 永井純専務理事から、資料3に基づき、令和2年 度学生役員候補者を承認することについて提案が あった。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理 事全員一致で可決した。

第4号議案「令和2~3年度役員候補選出会議の構成メンバー及び役員候補選出スケジュールについて」

永井純専務理事から、資料に基づき、令和2~3 年度役員候補選出会議の構成メンバー及び役員候 補選出スケジュールを承認することについて提案 があった。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理 事全員一致で可決した。

なお、本事項につき、以下の通りやりとりがあった。

- 永井純専務理事:地区学連推薦理事候補提出締切日 は、2月10日となる。関東学連はスケジュール上 問題ないか。
- 日隈広至理事:規約上、3月に改選ということに なっており、努力させていただく。
- 永井純専務理事:適宜配慮したい。
- 第5号議案「委員会規程改定について」

永井純専務理事から、資料に基づき、委員会規程 の改定について承認することについて提案があっ た。

加えて、本事項につき、以下の通り障子理事から 追加の提案があった。 障子恵理事:総務委員会について、第3条(2)(月) に主催競技会における運営役員に関する規定が あるが、今後大会運営における役割分担を競技委 員会とも調整して適切に行いたいと考えており、 「(式典、報道、ホスピタリティ等)」という文言を 削除いただきたい。

審議の結果、永井専務理事及び障子理事からの提 案内容をともに承認することを、出席理事全員一 致で可決した。

なお、本事項につき、以下の通り補足があった。

- 永井専務理事:倫理委員会及び不服申立委員会の運営規程及び委員については、次回理事会で上程させていただく。
- 第6号議案「栄章に関する規程改定について」

永井純専務理事から、資料に基づき、栄章に関する規程の改定について承認することについて提案があった。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事中賛成10名、反対7名の賛成多数で可決した。 なお、本事項につき、以下の通りやりとりがあった。

- 植田恭史理事:ユニバーシアードに関する規定の改 定について、メダルはどの大会でも高く評価され ているところであり、あえて優勝にレベルを上げ る必要はないのではないかと考える。
- 永井専務理事:ユニバーシアードのメダル獲得による勲功章受章について、あまりありがたみを感じていない選手も多く、優勝選手も増えていることから、こうした形で良いのではないかと考えている。指導されている先生方の気持ちはよくわかるが、ユニバーシアードがある年とない年で人数の偏りが大きくなりすぎていることもあり、御理解いただきたい。
- 松本正之会長:反対意見もあったことから、挙手に よる採決をとりたい。

また、本事項につき、以下の通り補足があった。

- 永井純専務理事:細則2の4におけるオリンピック種目に関する規定の追加は、今年度、東洋大学の川野将虎選手が50km競歩で日本新記録を樹立し、世界ランキング第1位に立っていることを受け、今後もこのようなことが継続的に起こりうることを想定して追加したいと考えているもの。
- 第7号議案「公印取扱規程改定について」

永井純専務理事から、資料に基づき、公印取扱規 程の改定について承認することについて提案が あった。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理 事全員一致で可決した。

第8号議案「令和2年~令和5年 地区学連正会員 定数について」

永井純専務理事から、資料に基づき、令和2年度 ~5年度の地区学連正会員定数を承認することに ついて提案があった。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理 事全員一致で可決した。

第9号議案「専門委員会メンバーの推薦及び正会員加入(枠)について」

永井純専務理事から、資料に基づき、専門委員会 メンバーの推薦及び正会員加入(枠)を承認する ことについて提案があった。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理 事全員一致で可決した。

第10号議案 「陸上競技研究について」

永井純専務理事から、資料に基づき、「陸上競技研究」の発行について、業務の性格上見積合わせが 困難であることを承認することについて提案が あった。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理 事全員一致で可決した。

第11号議案「理事・監事及び正会員に対する諸謝金 等の支給について |

永井純専務理事から、資料に基づき、本連合の公益目的事業実施における理事・監事及び正会員に対する諸謝金の支給を可とすることを承認することについて提案があった。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理 事全員一致で可決した。

第12号議案「その他」

・令和元年度日本陸連栄章受章者の推薦について 永井純専務理事から、令和元年度日本陸連功労 章及び秩父宮章の推薦については会長一任とす ることについて提案があった。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席 理事全員一致で可決した。

【報告事項】

①会務報告について(令和元年9月12日以降)

永井純専務理事から、資料に基づき報告があった。

なお、本事項につき、以下の通り補足があった。

- 永井純専務理事:10月6~9日にローザンヌにおいて、2022世界大学クロスカントリー選手権の福岡誘致に関するプレゼンテーションが行われた。山下理事及び大西事務局長が対応し、正式な連絡は未着であるが、2022年の福岡開催が内定した。後ほど、9. その他においても報告させていただくが、準備委員会、組織委員会を立ち上げて準備を進めたい。
- ② 2019 オランダ・ナイメーヘン/ヒルズ 15km ロードレース報告 栗山佳也常務理事から、資料 13 に基づき報告が あった。
- ③各主催駅伝大会について(出枠等/視聴率) 永井純専務理事から、資料に基づき報告があっ た。

なお、本事項につき、以下の通り補足及びやりと りがあった。

- 永井純専務理事:12月30日の全日本大学女子選抜駅伝競走については、全日本大学女子駅伝から上位12チーム、5000m7名のタイムで10チーム(昨年:8チーム)選ばれることとなっている。全日本大学選抜と静岡県選抜を加えて、過去最多の24チームで行われる。開会式後、選手を対象に鉄剤投与に関する講義を蒲原理事から行っていただく。
- 日隈広至理事:全日本大学駅伝のスタート地点の熱 田神宮において、トイレの故障により選手が困っ たという事案が報告されている。
- 永井純専務理事:来年はスタート地点の場所で工事 も予定されており、12月12日に小委員会が開催 されるので、検討したい。
- ④第65回指導者会議について 永井純専務理事から、資料に基づき報告があった。
- ⑤2020オリンピック・パラリンピック競技ボランティアについて

関根春幸常務理事から、資料に基づき報告があった。

なお、本事項につき、以下の通りやりとりがあった。

28 会議報告

向上と進展会報157.indd 28 2020/01/05 17:57

杉山喜一理事:アンケートの際には、北海道学連からほとんど希望者がなかったが、マラソン・競歩の札幌移転に伴い大きな変更がありうる。そのあたりについて情報があれば教えてほしい。

関根春幸常務理事:現段階で御説明している話は案 としてお示ししているもの。基本的に、東京オリ ンピック・パラリンピックの競技役員はNTO を中心に編成されることになっている。しかしな がら、札幌移転に伴い、NTO全員を札幌に派遣 できるわけではなく、現在派遣可能かどうか確認 をとり、NTOの数を確定させる作業を行ってい る。また、路上の補助競技役員についても、札幌 移転に伴い派遣人数の精査を行っている。それが 終わった段階で、NTO・補助競技役員ともに、 北海道の方々に協力いただく必要はあると考えて いる。一方で、ボランティアの応募が当初の想定 よりもかなり多くなっている状況であり、追加で ボランティアの募集を大々的に行うということも できない見込み。その点は、組織委員会で慎重な 検討が進められている。

澤木啓祐副会長:補助競技役員と補助運営役員、役割分担としてはどのようなカテゴリがあるのか。

関根春幸常務理事:選手村で補助する係、競技場で 競技運営の補助をする係、練習場で練習の補助を する係という3つのパターンがある。全ての補助 役員が学連から参加する学生の場合には、実際の 運営を学ばせてほしく陸上競技にかかわらせてほ しいという、陸上競技限定、かつ、学生が持って いる能力を十全に果たせる部署で業務ができるよ う、日本学連において選定させてほしいというこ とで組織委員会にはお願いしている。

⑥2020世界大学クロスカントリー選手権(モロッコ/マラケシュ)について

永井純専務理事から、以下の通り報告があった。 永井純専務理事:既に数のエントリーは済ませて おり、受領の連絡がFISUから来ている。スタッ フについては、リーダー:山下理事、男子:米田 強化委員及び岩元理事、女子:鯉川強化委員及び 女性トレーナー。選手については、男女6名ずつ の派遣を予定。その他、2022年に向けた視察員と して関根競技委員長と大西事務局長を派遣する予

(7)2022世界大学クロスカントリー選手権の状況に

ついて

永井純専務理事から、以下の通り報告があった。 永井純専務理事:先ほども述べた通り、既に開催が 事実上確定しているので、年が明けたら委員会を 立ち上げて着実に準備を進めたい。

⑧2020東京マラソン学生エントリーについて 永井純専務理事から、資料に基づき報告があった。

なお、本事項につき、以下の通り補足があった。 永井純専務理事:エリートと準エリートの区分につ いては、今後日本陸連と調整する予定であり、で きるだけ多くの選手をエリート枠で派遣できるよ うにしたい。

9その他

・日本陸連情報(スポーツ庁ガバナンスコード) 永井純専務理事から、別紙に基づき報告があっ た。

なお、本事項につき、以下の通り補足があった。 永井純専務理事:日本陸連から伝達があったもの。 基本的には、NFを対象とするもの。役員の改選 等もあるので、女性役員や外部役員の割合等、こ うした事項も頭に入れながら検討したいと考えて いる。各ヘッドコーチにおかれても、御承知置き いただきたい。

・駅伝の留学生の扱いについて

永井純専務理事から、以下の通り報告があった。 永井純専務理事:エントリーは2名まで、出走は1 名のみということでこれまで申し送りがなされて きた。かなり過去に各地区学連と議論をして決定 したものと把握している。しかしながら、出雲駅 伝において地区学連選抜チームが留学生2名を出 走させる形で区間エントリーを行ってきた事案が 発生した。結果的に、選手の差替えが行われたが、 箱根駅伝等に倣って、何らか明記することを検討 している。

・第52回全日本大学駅伝/地区予選会経費について 永井純専務理事から、以下の通り報告があった。

永井純専務理事:朝日新聞社より、来年度以降の全日本大学駅伝の地区予選会経費について連絡があった。来年度第52回については全額支給する一方、使途不明金の存在が経理担当から指摘されていることから、第53回大会から、選考会の運営に係る費目を示すので、その費目に合わせて会計

を行ってほしいとのこと。各地区学連においても 御承知置きいただきたい。

・日本IC競技日程の方向性について

永井純専務理事から、以下の通り報告があった。 永井純専務理事:今年度の日本ICにおいて、4日間開催としたことによる大幅な赤字が発生したこと、競技日程の内容についても課題点が多かった。また、新潟陸協からも、競技役員や学生役員の確保の観点から、3日間開催を強く要望している。更に、各大学の出費も4日間開催の場合に大きくなっているという声も聞いている。今後、強化委員会、競技委員会、総務委員会や、各地区学連のヘッドコーチとも協議し、次回理事会で決定したい。

なお、本事項につき、以下の通りやりとりがあっ た。

澤木啓祐副会長:以前は1種目2名のエントリーだった。そうした方法も視野において検討いただいてもよいのではないか。

永井純専務理事:毎回、地区ICの優勝者の扱い等 も問題になる。

澤木啓祐副会長:1種目2名エントリーの際には、 地区ICの優勝者も出場が認められていたと記憶 している。

永井純専務理事:そうした点も含めて検討していき たいと思う。今年度の大会においては、大幅な時 間の遅れも発生し、運営としてはあまり円滑にい かなかった。一方で、強化委員会からは、出来る だけ多くの選手を出場させたいという声があるこ とも承知しており、検討してまいりたい。

・事務手続きについて

永井純専務理事から、資料に基づき報告があった。

なお、本事項につき、以下の通り補足があった。

永井純専務理事:理事とヘッドコーチが異なっていても理事会の内容などが共有できていれば問題ないが、各地区学連推薦理事はヘッドコーチと一致することが望ましいのではないかと個人的には考えている。また、功労章受章候補者推薦書の記載について、きちんとヘッドコーチの責任で内容を精査いただきたい。また、正会員については、退会届の提出も確実に行うようお願いしたい。

・ 令和 2 年 2 月~3 月の主催競技会への役員派遣に

ついて

永井純専務理事から、令和2年2月~3月の本連 合主催競技会における役員派遣については専務理 事一任とさせていただく旨の報告があった。

・関西学連において令和2年度に開催を検討している駅伝大会について

伊東輝雄理事より、以下の通り報告があった。

伊東輝雄理事:来年11月に男女混合駅伝を企画しており、今後大会要項の作成等の作業を進めていく予定である。関西の学生競技者の活性化、特に中長距離のレベル低下に対応した強化の一環として行おうと考えているもの。次回3月理事会において、要項等をお示ししたい。

以上をもって議案の審議等を終了したので、16時 21分、議長は閉会を宣し、解散した。

資料 2020年度 日本学連関連競技会・主要会議日程(案)

令和元年12月7日現在

□□は日本学連主催

年	月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	事業名	会場
-4-	- <i>F</i> J	• •	第70回兵庫リレーカーニバル	神戸
	4月	26日(日)		仲尸
		調整中	Tokyo Combined Events	<u>г</u>
		29日(祝・水)	第54回織田幹雄記念国際陸上競技大会	広島
		3日(金・祝)	第36回静岡国際陸上競技大会	静岡
	5月	5日(火・祝) ~6(水・祝)		国立競技場
	-,,	10日(日)	ゴールデングランプリ	国立競技場
		16日 (土)	理事会	東京
		5日(金)~7日(日)	2020日本学生陸上競技個人選手権大会	Shonan BMW スタジアム平塚(神奈川)
		13日(土)~14日(日)	103回日本陸上競技選手権(混成)	長野市
	6月	13日 (土)	第12回定時社員総会 /理事会	東京
		19日(金)~21日(日)	秩父宮賜杯第73回西日本学生陸上競技対校選手権大会(共催)	東海地区
		25日(木)~28日(日)	104回日本陸上競技選手権	大阪
		未定	第42回北日本学生陸上競技対校選手権大会(共催)	未定
2020	7月	18日 (土)	秩父宮賜杯第60回実業団・学生対抗陸上競技大会 (2020オールスターナイト陸上)	Shonan BMW スタジアム平塚(神奈川)
年		7月31(金)~8月9日(日)	オリンピックー陸上	国立競技場/札幌
		12 (水) ~16 (日)	全国高校陸上	静岡
	8月	8月28(金)~9月6日(日)	パラリンピックー陸上	国立競技場
	9月	10日(木)	理事会	新潟
		10日(木)~13日(日)	天皇賜盃第89回日本学生陸上競技対校選手権大会	デンカビッグスワン (新潟)
		未定	関東学生新人陸上競技選手権大会	未定
	10月	9日(金)~13日(火)	75回国民体育大会	鹿児島
		11日(日)	第32回出雲全日本大学選抜駅伝競走	出雲市(島根)
		17日 (土)	箱根駅伝予選会	立川市(東京)
		25日(日)	第38回全日本大学女子駅伝対校選手権大会	仙台市(宮城)
		1日(日)	秩父宮賜杯第52回全日本大学駅伝対校選手権大会	名古屋/伊勢
	11月	15日(日) 未確認	ナイメーヘン・ヒルズ15 k mロードレース	オランダ/ナイメーヘン
		5日(土)	理事会	東京
	12月	12月30日 (水)	2020全日本大学女子選抜駅伝競走	富士市、富士宮市
		27日 (土)	第104回日本選手権大会クロスカントリー競走(共催)	福岡市
	2月	7日(日)	2021東京マラソン	東京
		4日(木)~6日(土)	第46回学生幹部役員研修会	東京
2021		6日(土)	理事会	東京
年		6日(土)	日本学生陸上フォーラム2021 (第66回指導者会議)	東京
	3月	14日(日)	第24回日本学生ハーフマラソン選手権大会	立川市(東京)
		21日(日)	第15回日本学生20 k m競歩選手権大会	能美市(石川)
		21日(日)	第24回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会	松江市(島根)
		21口(口)	かい カル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(対な) ロエトムア

会議報告 31

向上と進展会報157.indd 31 2020/01/05 17:57

令和2年公益社団法人日本学生陸上競技連合 学生役員一覧 資料

役	職	氏名	フリガナ	大学	学年	地区
幹事	長	二見 百香	フタミ モモカ	日本体育大学	4	連合
副幹事	手長	古屋敷 律希	コヤシキ リツキ	日本体育大学	3	連合
常任草	幹事	公文 こころ	クモン ココロ	横浜市立大学	2	連合
常任草	幹事	渡邉 稜太	ワタナベ リョウタ	東洋大学	2	連合
常任草	幹事	髙安 弘人	タカヤス ヒロト	東北大学	3	東北
常任草	幹事	原田 あすか	ハラダ アスカ	至学館大学	4	東海
幹	事	真鍋 宏太郎	マナベ コウタロウ	北海道大学	3	北海道
幹	事	長谷川 麗央	ハセガワ レオ	仙台大学	3	東北
幹	事	山田 幸輝	ヤマダコウキ	神奈川大学	4	関東
幹	事	本松 貫太	モトマツ カンタ	千葉大学	3	関東
幹	事	八尾 あす香	ヤオアスカ	中央大学	3	関東
幹	事	畠山 真平	ハタケヤマ シンペイ	日本大学	4	関東
幹	事	三輪 彩乃	ミワアヤノ	東海大学	3	関東
幹	事	成田 昂暉	ナリタ コウキ	信州大学	3	北信越
幹	事	宇野 智希	ウノトモキ	中京大学	4	東海
幹	事	曽我 司	ソガ ツカサ	名城大学	4	東海
幹	事	兵藤 賢	ヒョウドウ ケン	名古屋大学	3	東海
幹	事	中沢 亮	ナカザワ リョウ	大阪市立大学	4	関西
幹	事	山中 花咲	ヤマナカハナキ	京都産業大学	4	関西
幹	事	山口 佳那子	ヤマグチ カナコ	京都大学	3	関西
幹	事	丸尾 拓	マルオ タクミ	広島大学	3	中国四国
幹	事	木野 峻	キノシュン	九州大学	3	九州

※学生役員任期:令和2年1月1日~令和2年12月31日 ※学年は、令和2年度(4月1日以降)の学年

令和2年度~日本学生陸上競技連合 地区学連申込み正会員の定数(案) 資料

地区	現行		新		
北海道	6	5	1	6	
東北	7	5	2	7	
関東	23	5	18	23	
北信越	7	5	2	7	
東海	9	5	4	9	
関西	12	5	8	13	
中国四国	9	5	3	8	
九州	8	5	3	8	
地区学連推薦合計	81	40	41	81	
	(令和2年度改定・新定数)				
学識経	験者		54		
_		総計135			

※地区学連の定数の算出方法は、まず、各地区に5ずつ割当て、次に残りの41を過去3事業年度の普通会員の数を基にドント方式で割当てるものとする。 ※定数の見直しは、設立登記の日以降、4事業年度に1度行うものとする

資料 栄章規程改定について

	改定案/備考
光门	以足米/
(目的) 第1条 この法人は、日本学生陸上界に功労、功績及び勲功があった者に栄章を贈り、その 名誉を表彰するためにこの規程を設ける。 (栄章の種類)	
第2条 栄章は功労章、勲功章及び諸記録章の3種類とする。 (栄章の区分) 第3条 栄章の区分を次の通りとする 1. 功労章	
(ア)この法人の運営に著しい功労のあった者 (イ)地区学連の運営に著しい功労のあった者 (ウ)数次にわたり各種の競技会において、学生競技者の育成に技術的貢献のあった者。 (エ)国際的友好の増進のために功労のあった者	2. 勲功章
2. 勲功章 (ア)定款第6条第2号に規定する普通会員であってオリンピック競技大会に日本代表 として出場し、入賞した者	(イ)ユニバーシアード競技大会に日本代表として
(イ)ユニバーシアード競技大会に日本代表として出場し、第3位までに入賞した者 (ウ)定款第6条第2号に規定する普通会員であって世界選手権大会に日本代表として 出場し、入賞した者	出場し優勝した者
(エ)定款第6条第2号に規定する普通会員であって世界記録を更新した者。 3. 諸記録章 (ア)定款第6条第2号に規定する普通会員であって、前年12月1日から11月30日までの	
競技会において、日本新記録を樹立した者およびその指導者 (イ)定款第6条第2号に規定する普通会員であって、前年12月1日から11月30日までの 競技会において、日本学生新記録を樹立した者およびその指導者 (選考方法)	
第4条 栄章の選考は次のとおり定める。 1. 栄章に関する審査は、栄章審査委員会が行い、理事会の議を経て決定する。 2. 諸記録章の決定は第1項の限りではない (栄章審査委員会の構成)	
第5条 栄章審査委員会は、専務理事、総務委員長、総務副委員長、地区学連選出理事各1 名、計12名により構成する。 (栄章の推薦方法) 第6条 栄章の推薦方法を次のとおり定める。	
1. 地区学連は、毎年度1回栄章受章候補者を選び、陸上競技に対する詳細な経歴書を添えて、会長に推薦する。ただし、会長も推薦することができる。 2. 功労章は、当該年度3月31日までに満50歳に到達する者を推薦するものとする。 (栄章の贈与期日) 第7条 栄章の贈与は次の機会に行う	
1. 功労章 日本学生陸上競技対校選手権大会のとき 2. 勲功章	
日本学生陸上競技対校選手権大会又はその他この法人の主催競技会のとき 3. 諸記録章 12月開催の理事会終了後	
(名簿の掲載) 第8条 栄章の受章者の名簿は毎年度刊行する便覧に掲載する。 (他の団体の表彰等への推薦)	
第9条 他の団体の表彰等への推薦は、会長が行う。 細則1.第3条2の勲功章(ア)~(ウ)において、リレー種目及び団体競技の取り扱いに関する細則を以下の通り定める。	
 リレー種目は、決勝に出場した4名を勲功章の対象とする。ただし、決勝までのラウンドのみ出場した者には、敢闘賞を贈与する。 道路競技における団体競技は、記録集計の対象者になった者を勲功章の対象とする。ただし、集計対象外の競技者で8位以内にフィニッシュした者には、敢闘賞を贈 	
る。たたし、栄計別家外の放牧者とも世域内がにフィータンゴした者には、取断員を増与する。 3. 敢闘賞の贈与期日は、第7条「栄章贈与期日」に準ずる。 細則2. 第3条3項の諸記録章の副賞等について以下の通り定める。 1. 日本新記録樹立者(チーム)50万円、指導者15万円とする 2. 日本学生新記録樹立者(チーム)30万円、指導者10万円とする 3. 日本新記録樹立者、日本学生新記録樹立者の決定は、11月末時点の最高記録者1名	
を対象とする。 4. 日本新記録、日本学生新記録の対象は、ユニバーシアード種目、10000m競歩およびマラソンとする。 5. リレー種目は、単独チームを対象とし、チームに対して上記金額を贈与する	4. 日本新記録、日本学生新記録の対象は、ユニバーシアード・オリンピック種目および10000 m競歩とする。
6. 新種目は、5年間の経過の後、対象とする。 7. 日本新記録樹立者は、日本学生新記録章の重複受章を不可とする。 8. 複数の種目にわたり、日本新記録又は日本学生新記録を樹立した者は、種目数に応じて贈与する。但し、指導者に対する副賞の褒賞金はこの限りではない。	但し、競歩、マラソンの途中記録は対象としない
9. タイ記録は対象としない。 10. 褒賞金の額は、理事会の決定により変更する場合がある。	

資料

第40回理事会(2019年9月12日)以降の職務執行の状況報告

月日	行 事(報告内容)
9月12日(木)	第40回理事会 於:都ホテル岐阜長良川
9月12日(木)~15日(日)	天皇賜盃第88回日本学生陸上競技対校選手権大会 於:岐阜市
9月15日(日)	平成30年度功労章、令和元年度勲功章贈与式 於:岐阜市
9月19日(木)	富士山女子駅伝実行委員会於:富士市
9月24日(火)	東京オリンピック・パラリンピック補助競技役員・補助役員会議 於:日本学連事務所
9月26日(木)	総務委員会 於:日本学連事務所
10月3日(木)	全日本大学女子駅伝実行委員会 於:仙台市
10月5日(土)	茨城国体/89回日本インカレ(新潟)打ち合わせ 於:ひたちなか市(笠松)
10月6日(日)~9日(水)	2022世界大学クロスカントリー/福岡開催FISUプレゼンテーション 於:ローザンヌ
10月12日(土)~14日(月)	第31回出雲全日本大学選抜駅伝競走駅伝(出雲市)
10月19日(土)	総務委員会
10月24日(木)	日本スポーツ振興センター助成金交付実態調査 於:日本学連事務所
10月26日(土)~27日(日)	第37回全日本大学女子駅伝対校選手権大会 於:仙台市
10月31日(木)	倫理委員会 於:日本学連事務所
11月1日(金)~3日(日)	秩父宮賜杯第51回全日本大学駅伝対校選手権大会 於:名古屋~伊勢
11月6日(水)	富士山女子駅伝 交通会議 於:富士市
11月12日(火)	倫理委員会 於:日本学連事務所
11月12日(火)	指導者会議運営委員会於:日本学連事務所
11月12日(水)~19日(火)	Zevenheuvelenloop 15 k mロードレース 於:ナイメーヘン/オランダ
11月14日(木)	富士山女子駅伝静岡県記者発表於:静岡県庁
11月18日(月)	競技委員会於:日本学連事務所
11月19日(火)	全日本大学駅伝 事務局ミーティング 於:日本学連事務所
11月20日 (水)	全日本大学女子駅伝実行委員会 於:仙台市
11月21日(木)	富士山女子駅伝実行委員会於:富士市
11月22日(金)	日本陸連/全国強化責任者会議 於:NTC
11月29日(金)	第23回企画委員会於:日本学連事務所
12月5日(木)	89回日本 I C 新潟陸協ミーティング 於:日本学連事務所
12月7日(土)	学生役員会議 於:TKP品川カンファレンスセンター
12月7日(土)	2019年日本学連 栄章(諸記録章) 贈与式
12月7日(土)	第41回理事会 於:TKP品川カンファレンスセンター

資料-A

第32回出雲全日本大学選抜駅伝競走 各地区学連出場枠について

【各地区学連出場枠について】

以下の配分方法により、毎年各地区学連からの出場枠を決定する。

- 1. 基本枠(8) 各地区学連には、基本枠として1枠ずつを配分する。
- 2. 成績枠(12) 前年度大会で1位~12位のチームの所属する地区学連の数を出場枠として配分する。
- (注 1) 出場枠が 1 の学連においては、出場資格を「選抜チーム」または「単独校チーム」のどちらか を選ぶことができる。出場枠が 2 以上の学連においては、「単独校チーム」のみとなる。
- (注 2) ひとつの地区学連の出場枠は最大で 10 (基本枠・成績枠の合計) とする。 出場枠が 10 を超えた地区学連は、超過分の成績枠を 13 位のチームの所属する地区学連に譲ることとなる。
- (注3) アイビーリーグ選抜が12位以内の場合は13位のチームの所属する地区学連に成績枠を配分する。

1. 成績枠の配分

	第31回大会結果				
1	國學院大学	関東			
2	駒澤大学	関東			
3	東洋大学	関東			
4	東海大学	関東			
5	青山学院大学	関東			
6	立命館大学	関西			
7	帝京大学	関東			
8	順天堂大学	関東			
9	拓殖大学	関東			
10	法政大学	関東			
11	中央学院大学	関東			
12	北海道学連選抜	北海道			
13	IVY リーグ選抜				
14	関西学院大学	関西			

関東 5 関西 1 関東 6 関東 7 関東 8 関東 9

次回 第32回大会出場枠

関東 1 関東 2 関東 3 関東 4

関東10(関東超過分) 北海道1

関西2 (関東超過分)

2. 第32回大会各地区学連出場枠について

地区	出場枠数	第31回大会 出場枠数		
北海道	2	1	1	1
東北	1	1	0	1
関東	10	1	9	10
北信越	1	1	0	1
東海	1	1	0	2
関西	3	1	2	3
中四国	1	1	0	1
九州	1	1	0	1
合計	20	8	12	20

資料-B 第38回全日本大学女子駅伝対校選手権大会 各地区学連出場枠について

【各地区学連出場枠について】

以下の配分方法により、毎年各地区学連からの出場枠を決定する。

- 1. シード枠(8) 前年度大会で1位~8位に入った大学には、出場シード権を与える。
- 2.基 本 枠(8) 各地区学連には、基本枠として1枠ずつを配分する。
- 3. 成 績 枠(9) 前年度大会で 9 位~17 位のチームの所属する地区学連の数を出場枠として配分する。
 - (注) その他、大会主催者の認める選抜チームのオープン参加を認める場合がある。

1. シード枠及び成績枠の配分について

・シート件及び队積件の能力について				
	第 37 回大会結果			
1	名城大	東海		
2	大東文化大	関東		
3	立命館大	関西		
4	松山大	中国四国		
5	日本体育大	関東		
6	城西大	関東		
7	大阪学院大	関西		
8	関西大	関西		
9	大阪芸術大	関西		
10	東京農業大	関東		
11	東洋大	関東		
12	佛教大	関西		
13	京都産業大	関西		
14	東北福祉大	東北		
15	福岡大	九州		
16	玉川大	関東		
17	神戸学院大	関西		

次[回 第 38 回大会出場枠
	名城大
	大東文化大
	立命館大
シード枠	松山大
ソート作	日本体育大
	城西大
	大阪学院大
	関西大
	関西 1
	関東 1
	関東 2
	関西 2
成績枠	関西 3
	東北 1
	九州 1
	関東 3
	関西 4

2. 第38回大会各地区学連出場枠について

地区		第 37 回			
地区	計	シード枠	基本枠	成績枠	あり四
北海道	1	0	1	0	1
東北	2	0	1	1	2
関東	7	3	1	3	8
北信越	1	0	1	0	1
東海	2	1	1	0	2
関西	8	3	1	4	8
中国四国	2	1	1	0	2
九州	2	0	1	1	1
合計	25	8	8	9	25

資料-C 第52回全日本大学駅伝対校選手権大会 各地区学連出場枠について

【各地区学連出場枠について】

- 以下の配分方法により、毎年各地区学連からの出場枠を決定する。
- 1. シード枠(8) 前年度大会で1位~8位に入った大学には、出場シード権を与える。
- 2. 基 本 枠(8) 各地区学連には、基本枠として1枠ずつを配分する。
- 3. 成 績 枠(9) 前年度大会で9位~17位のチームの所属する地区学連の数を出場枠として配分する。
- (注 1) ひとつの地区学連の出場枠は最大で 15 (シード枠・基本枠・成績枠の合計) とする。 出場枠が 15 を超えた地区学連は、超過分の成績枠を 18 位のチームの所属する地区学連に譲ることとなる。
- (注2) その他、大会主催者の認める選抜チームのオープン参加を認める場合がある。

1. シード枠及び成績枠の配分について

東
東
東
東
東
東
東
東
東
東
東
西
東
東
東
東
西
西

次回	第52回大会出場枠		
	東海大		
	青山学院大		
	駒澤大		
シード枠	東京国際大		
	東洋大		
	早稲田大		
	國學院大		
	帝京大		
	関東 1		
	関東 2		
	関東3		
	関西 1		
成績枠	関東 4		
八八八八十	関東 5		
	関東 6		
	関東(超過)		
	関西 2		
	関西3(関東超過分)		

2. 第52回大会各地区学連出場枠について

地区		第51回			
- 地스	計	シード枠	基本枠	成績枠	第5 I 凹
北海道	1	0	1	0	1
東北	1	0	1	0	1
関東	15	8	1	6	15
北信越	1	0	1	0	1
東海	1	0	1	0	2
関西	4	0	1	3	3
中国四国	1	0	1	0	1
九州	1	0	1	0	1
合計	25	8	8	9	25

資料 2019年駅伝の視聴率について

<第31回出雲全日本大学選抜駅伝競走> 10月14日(月・祝) フジテレビ系列

関東地区 フジテレビ 8.0% (昨年比-0.3ポイント) 東海地区 東海テレビ 6.9% (前年比-0.2ポイント) 関西地区 関西テレビ 7.0% (前年比+0.1ポイント) 山陰中央テレビ 9.0%(前年比-3.2ポイント)

<第37回全日本大学女子駅伝対校選手権大会> 10月27日(日) 日本テレビ系列

●テレビ視聴率

関東 7.2% (昨年比-0.7ポイント) ※仙台開催で歴代10位

宮城 15.0% (昨年比+0.1ポイント) ※同歴代3位

※参考:36回 35回

関東 7.9% (前年比-2.6ポイント) 関東 10.5% (昨年比+2.1ポイント) ※同過去最高 宮城 14.9% (前年比-4.8ポイント) 宮城 19.7% (昨年比+6.0ポイント) ※同過去最高

<第51回全日本大学駅伝対校選手権大会> 11月3日(日) テレビ朝日系列

テレビ朝日(関東地区) 11.5% (去年11.6%)、

名古屋テレビ (愛知・三重・岐阜) 12.3% (去年12.7%)

3連休で在宅率が低い状況であったが、番組占拠率がテレビ朝日27.0%、名古屋テレビが29.0%と高水準で、視聴 率を押し上げる結果となった。

下記、歴代のテレビ朝日の視聴率上位5大会。

「完全中継」を実施して以降、去年に次ぐ歴代2位の結果。最近3年間、11%を超える視聴率。

【参考】テレビ朝日視聴率

1位	14.6%	94年大会 優勝:早稲田大学(3連覇)前半
2位	12.6%	94年大会 優勝:早稲田大学(3連覇) 後半
3位	11.6%	18年大会 優勝:青山学院大学
4位	11.5%	19年大会 優勝:東海大学(16年ぶり)
5位	11.0%	17年大会 優勝:神奈川大学(20年ぶり)

資料 東京2020大会における補助競技役員・補助運営役員にかかる今後の進め方について

登録依頼(組織委員会→日本学連→地区学連→大学→本人) 1 登録

12月上旬

12月末まで 登録終了(本人 {大学})登録フォーム入力→組織委員会

 1月中旬 日程、役割等調整(組織委員会) オリンピック組織委員会 日本学生陸上競技連合

2019年12月7日

推薦依頼(組織委員会→日本学連→地区学連→大学→本人) 1月末 2 推薦 • 2月中旬 推薦回答(本人→大学→地区学連→日本学連→組織委員会)

委嘱状配布(組織委員会→日本学連→地区学連→大学→本人) 2月末~ 3 委嘱手続き

• 3月~4月 委嘱同意書を回収(本人→大学→地区学連→日本学連→組織委員会)

(役割別研修の場を活用)

4個人情報入力・3月~4月末までアクレディ専用フォームに入力(本人)

役割別研修(新ルール等) 3月~4月 5 研修

> 5月上旬 役割別研修(業務内容に準じた者)、実地研修(テストイベント)

2019年日本学生新記録章贈与式を開催

1. 日時: 令和元年12月7日(土)

2. 場所: TKP 品川カンファレンスセンター

2019年に日本新記録・日本学生新記録を樹立した 以下の選手及び指導者に対し、日本学連・松本会長 より、章記と報奨金が贈呈されました。

【日本新記録】

●北口 榛花(きたぐち はるか) 日本大学

女子やり投:66 m 00 (2019年10月27日)

第41回北九州陸上カーニバル 指導者:日本大学陸上競技部 宮内 育大 様

●郡 菜々佳(こおり ななか) 九州共立大学

女子円盤投:59 m 03 (2019年3月27日)

第1回九州共立大学陸上競技会 指導者:九州共立大学陸上競技部

疋田 晃久 様

●川野 将虎(かわの まさとら) 東洋大学

男子 50km 競歩: 3時間 36 分 45 秒(2019 年 10 月 27 日)

第58回全日本50km競歩高畠大会兼

東京2020オリンピック日本代表選手選考競技会

指導者:東洋大学陸上競技部 酒井 瑞穂 様

【日本学生新記録】

●泉谷 駿介(いずみや しゅんすけ) 順天堂大学

男子110mH:13秒36(2019年6月30日)

第103回日本陸上競技選手権大会 指導者:順天堂大学陸上競技部

越川 一紀 様

●川野 将虎(かわの まさとら) 東洋大学

男子20km競歩:1時間17分24秒(2019年3月17日)

第43回全日本競歩能美大会兼

第13回日本学生20km競歩選手権大会

指導者:東洋大学陸上競技部 酒井 瑞穂 様

●橋岡 優輝(はしおか ゆうき) 日本大学

男子走幅跳: 8 m 32 (2019年8月17日) 第1回 Athlete Night Game in Fukui

指導者:日本大学陸上競技部 森長 正樹 様



日本新記録および学生新記録章が贈られた

2019年度日本学生陸上競技連合卒業予定の学生役員送別会を開催

1. 日時: 令和元年12月7日(土)

2. 場所: TKP品川カンファレンスセンター

令和2年3月に卒業を予定している日本学連学生 幹事の送別会を開催しました。

日本学連宮﨑芽衣幹事長や黒井文香常任幹事をは じめ、8地区学連で活躍された幹事の皆様に対し、 松本会長から学連を支えていただいた感謝のお言葉 と社会人としてのエールをいただき、1人ひとりに 記念品が贈られました。



令和2年3月に卒業予定の学生役員たちの送別会が行われた

競技委員会より

競技委員長 関根 春幸

競技委員会は、日本学生陸上競技連合が主催する日本学生陸上競技個人選手権大会、実業団・学生対抗陸上競技大会、日本学生対校陸上競技選手権大会、日本学生ハーフマラソン選手権大会、日本学生女子ハーフマラソン選手権大会、日本学生20km競歩選手権大会、全日本大学駅伝対校選手権大会、全日本大学女子駅伝対校選手権大会、出雲全日本大学選抜駅伝競走、全日本大学女子選抜駅伝競走を学生幹事と一緒になって、準備、大会運営に取り組んでいます。

準備といえば、会場の選定から始まり、大会要項の作成、標準 記録の設定、エントリーの受付、大会プログラムの作成の仕事 を進めていきます。もちろん競技委員会だけでは準備はできま せん。強化委員会や総務委員会の力も借りながらの作業となり ます。いろいろな委員会から知恵を持ち寄って、1つの大会を作 り上げています。

さて、最近陸上競技を取り巻く世界が変わりつつあります。IAAFからWAという名称に変更になったのも一つです。また、今までは世界一を決めるような大きな国際大会には、個人記録だけで十分でした。これがパフォーマンスポイントに変わりつつあります。個人記録と大会での順位をポイント化し、種目によって2回~5回の平均得点で順位を決め、上位の数名が大きな国際大会に出場できるというシステムです。このシステムに日本の学生の記録を反映させるためには、まず競技会を国際化することが必要です。ルールをWAの求めているルールに変えていく必要があります。

日本の陸上競技のルールは競技の普及という観点も含まれているため、WAのルールと比べると厳格さに欠ける部分があります。この厳格さがあいまいだと指摘されてしまうと、競技会が国際的には認められず、記録がパフォーマンスポイントに反映されないことが起きてきます。これによって、せっかく出した日本記録も国内では通用するが、海外ではNGというケースも出てきます。

2019年は世界陸上がドーハで開催され、その時に新しいルールについても審議されました。間もなく製本されて、新しいルールブックが世界に配信されます。ホームページ上ではすでに2019年11月1日から新ルール適用という形で世界は動き出して

います。学生諸君の競技レベルが上がり、世界で活躍するため にはこういったことにもアンテナを張っておかなければなりま せん。

大きなところでは、走幅跳・三段跳の計測でピットの両サイドからのぞき込むような形で記録が計測できる透視式走幅跳・三段跳計測器というのが全国の競技場に備え付けられています。この計測器はWAでは認められていないため、国内の競技会では使用できますが、WAに記録を申請する大会や国際大会では使用できません。大学で行っている競技会も素晴らしい記録が出ています。多くの大会を競技委員会としてはWAに申請してランキングに反映させていきたい考えです。ところが主催する大学がこのような国際ルールを知らないで大会運営をすると先述の通りWAとして国際的に記録を認めるわけにはいかないという返事がきます。大学ごとに開催する大会、地区学連で開催する大会に出場し、最高のパフォーマンスを発揮してくれた競技者の努力を無にしたくはありません。ぜひ、ご協力をお願いします。

もう一つの大きな問題は、名前の表記と年齢区分です。日本語では主に漢字を使用しますが、世界ではローマ字表記が普通です。選手登録する際もローマ字表記を登録するようになりました。スムーズにWAに申請するためにはローマ字表記での記録表の作成が不可欠です。そして年齢です。WAでは、その年の12月31日までの年齢で区分しています。U20というのはその年の12月31日までに18歳・19歳だった学生が対象となります。日本の学年とは考え方が異なるため、記録の整理がとても厄介です。特にリレーは4人の年齢区分を把握する必要があるため、とても厄介です。漢字の名前の後には学年、ローマ字の名前の後には生年を西暦の下2ケタで表示するなどの工夫を競技委員会では考えています。まとまり次第、学生幹事を通じて提案しますので、その際にはご協力をお願いします。

競技運営というのはこのように大会の準備、当日の運営だけでなく、事後に発生する記録申請まで終わらないと、大会は終わりません。大会が終わった後も反省を繰り返し、次の大会に生かせるよう協議をしています。皆さんの意見を反映させながら、今後もより良い大会目指して頑張っていきます。

猫化委員会より

第88回日本IC以降の活動と来年度に向けて

強化委員長 栗山 佳也

今年度の最重要試合であったユニバーシアード(2019/ナポ リ)と第88回日本インターカレッジ(岐阜)が無事終了し、連 合主催大会の後半は主に各駅伝大会が行われました。その最 初は10月14日(祝)に第31回出雲全日本大学選抜駅伝競走が 行われ、國學院大学が最終区での逆転で初優勝しました。次 に10月27日(日)には、第37回全日本大学女子駅伝対校選手 権大会が行われ、名城大学が6区間中3区間で区間賞を取る など盤石なレースぶりで3連覇を果たしました。さらに、11 月3日(日)には第51回全日本大学駅伝対校選手権大会が行 われ、2018年より第1区から第7区の区間の距離を見直しま した。前半に短い距離を置き、後半の7区、8区に長い区間を 置くことでレースを面白くする工夫がなされ、今回も区間ご とに順位が入れ替わる熱戦が展開されました。総合成績では 東海大が第8区で青山学院大を逆転し、16年ぶりの優勝を勝 ち取りました。また、強豪校が多数出場している中で東京国 際大学が初出場で第4位に入る健闘を見せました。2020年は どの大学が勝つかわからない駅伝戦国時代となりそうです。

11月17日にはオランダ・ナイメーヘンで15kmロードレー

スが開催され、今年も連合派遣選手として男子4名、女子3名が派遣されました。この派遣事業はユニバーシアードのハーフマラソン強化対策として、海外のレベルの高いレースを通して国際的な競技力を身につけることを目的としています。今回は、特に女子の部で大東文化大の鈴木優花選手が48分48秒で4位に入り、これまでの日本人学生での最高タイムを出すことができました。2020年度も引き続き実施したいと考えています。駅伝関係では、12月30日に行われる2019全日本大学女子選抜駅伝競走が富士市・富士宮市にて開催予定です。

また、2020年の日本インターカレッジの開催日程について、 現在の4日間日程を3日間日程に戻す方向性が提案されています。4日間開催の問題点として、競技審判員の不足、運営費の膨張、各大学の経費の増加、今後の補助金削減・廃止等が理由として挙げられます。そのため参加人数の調整に伴う参加標準記録の見直し作業などを行う必要があります。各種目ブロック長・地区ヘッドコーチの方々の協力とご理解を得ながら、良い競技会になるよう改善して行きたいと思います。

第65回指導者会議(日本学生陸上フォーラム2020)開催要項

プログラム 1 (報告) 第30回ユニバーシアード競技大会(2019/ナポリ)の報告

日本学生陸上競技連合では、日本陸上競技界の発展のため、毎年「指導者会議」の名の下、シンポジウムや講演等を通じて競技者の強化に関するさまざまな課題について考えてきました。

過去4回の指導者会議のテーマは次の通りでした。

- 1)第61回指導者会議(日本学生陸上フォーラム 2016):日本実業団陸上競技連合と日本学連の 相互協力をキーワードとして学生アスリート の就職支援や就職後の練習環境支援に関する テーマ
- 2) 第62回指導者会議(日本学生陸上フォーラム 2017): リオ代表(オリンピアン/パラリンピ アン)の現役学生アスリートとベテラン社会 人アスリートをパネリストとして迎え、「大き な舞台に出場して見えてきたもの」「学生時代 にやっておくべきことは何か」のテーマ
- 3) 第63回指導者会議(平成29年度ユニバーシアード強化研究会): 「ユニバーシアード競技

大会台北2017の検証と今後の課題」

4)第64回指導者会議:「個人選手権大会のあり 方を考える――検証と課題――」

今回のフォーラムは、上記会議の成果等も参考としながら、日本実業団陸上競技連合、日本学生陸上競技連合が主催する実学対抗戦に焦点を置きます。本フォーラムの目的は、2020東京五輪後の実学対抗戦のあり方を考えるために、現状の世界陸連ワールド・ランキング制度や中長期的な視点に立ったアジアパーミット大会の開催も視野に入れながら、実学対抗戦(第1回~第59回)の検証を行って今後の課題を明らかにすることにあります。各演者には検証の視点(注1)と資料(注2)を参考にして発言してもらいます。また進行についてはフロア(指導者や学生幹事ら)も含めて活発な意見交換の場になるように努めます。

注1) 検証の視点: 実学対抗戦(第1回〜第59回) の歩みや特徴など注2) 参考資料: 実学対抗戦の歩み(概要)、世界陸連ワールド・ランキング制度、アジアパーミット大会など

記

1. 主 催:公益社団法人日本学生陸上競技連合

2.日 時: 2020年(令和2年)2月29日(土) (理事会終了後) 受付15:00~15:20 報告15:25~15:45 フォーラム15:50~17:50

3.会 場: TKP品川カンファレンスセンター ホール 6 D (〒108-0074 東京都港区高輪3-26-33 京急第10ビル)

4. 对 象:日本学生陸上競技連合関係者(地区学連、加盟校等)、実業団関係者、陸上競技愛好者(大学等)

5. 定 員:100名

6. 司 会:障子恵氏(跡見学園女子大学、学生連合:総務委員長・指導者会議運営委員)

7. コーディネーター: 船原勝英氏(共同通信社、学生連合: 倫理委員長・指導者会議運営委員・総務委員会委員)

8. **演者**(順不同)

プログラム 1 (報告) :安井年文氏(青山学院大学、第30回ユニバーシアード競技大会日本代表選手団監督) プログラム 2 (フォーラム):酒井勝充氏(コニカミノルタ陸上競技部副部長、日本実業団陸上競技連合強化委員長)

() 氏(実業団の方:現在、調整中)

栗山佳也氏(大阪体育大学、学生連合:常務理事・強化委員長)

関根春幸氏(東京都立世田谷総合高等学校、学生連合:常務理事・競技委員長)

以上

フォーラム告知 41

令和元年 日本学生陸上競技連合 会員について(2019年度) 2019年11月30日現在

正会員 135名

普通会員 20,287名

賛助会員 7名

日本学生陸上競技連合 普通会員の各月変遷 単位:人

	北海道	東北	関東	北信越	東海	関西	中四国	九州	月合計
年度前	300	694	6503	385	1213	3049	1159	633	13, 936
4月	301	226	1213	449	393	277	358	845	4, 062
5月	77	26	272	129	254	341	187	158	1, 444
6月	13	20	144	17	36	57	45	50	382
7月	1	4	225	9	25	26	10	36	336
8月	10	4	8	1	2	4	12	12	53
9月	0	4	11	8	7	13	10	13	66
10月	0	0	12	0	9	2	6	10	39
11月	0	2	3	0	1	2	0	1	9
12月									0
二重登録		-1	-5	-2	-1				-9
退会者		-1	-16	-1	-2	-10		-1	-31
合計	702	978	8370	995	1937	3761	1787	1757	20, 287

9/12理事会承認 20,191

増員数 96名

【参考:普通会員数の推移】

2019年8月31日現在

単位:人

年度	北海道	東北	関東	北信越	東海	関西	中国四国	九州	合計	前年比	5年前比	10年前比
2019	702	978	8, 370	995	1,937	3, 761	1, 787	1,757	20, 287	-455 ↓	831	3,435
2018	726	1, 017	8, 487	1,024	2,073	3, 808	1, 832	1, 775	20, 742	-41 ↓	2, 168	4, 085
2017	749	973	8, 588	1,009	2,098	3, 758	1, 853	1, 755	20, 783	86 ↑	2, 609	4, 450
2016	756	933	8, 578	1,009	2,088	3, 689	1, 884	1, 760	20, 697	607 ↑	2, 819	4, 483
2015	705	943	8, 221	1,021	2,007	3, 547	1, 904	1,742	20, 090	634 ↑	2, 849	4, 269
2014	680	929	7, 981	965	1, 936	3, 507	1, 843	1, 615	19, 456	882 ↑	2, 604	4, 230
2013	628	914	7, 547	903	1, 835	3, 383	1, 781	1, 583	18, 574	400 ↑	1, 917	3, 991
2012	640	910	7, 273	832	1,826	3, 360	1, 736	1, 597	18, 174	296 ↑	1, 841	3, 969
2011	711	933	7, 065	834	1, 756	3, 236	1, 723	1,620	17, 878	637 ↑	1, 664	3, 929
2010	688	919	6, 792	821	1,686	3, 106	1, 653	1, 576	17, 241	389 ↑	1, 420	3,374
2009	715	878	6, 641	879	1,611	3,000	1, 630	1, 498	16, 852	195 ↑	1, 626	2, 920
2008	754	952	6, 626	822	1, 480	2, 923	1, 598	1, 502	16, 657	324 ↑	2,074	
2007	651	977	6, 497	799	1, 426	2,870	1, 520	1, 593	16, 333	119 ↑	2, 128	
2006	651	1, 005	6, 452	743	1, 493	2,829	1, 471	1, 570	16, 214	393 ↑	2, 265	
2005	636	1, 041	6, 258	763	1, 429	2,728	1, 441	1, 525	15, 821	595 ↑	1, 954	
2004	599	984	6, 118	751	1, 321	2, 605	1, 410	1, 438	15, 226	643 ↑	1, 294	
2003	587	885	5, 864	749	1, 257	2, 519	1, 311	1, 411	14, 583	378 ↑		
2002	604	841	5, 663	755	1, 184	2, 478	1, 259	1, 421	14, 205	256 ↑		
2001	617	811	5, 604	685	1, 123	2, 486	1, 258	1, 365	13, 949	82 ↑		

201	19年度	男子	女子	合計	前年比	比率(%)
北	海道	549	153	702	-24	3.5
東	北	732	246	978	-39	4.8
関	東	6, 394	1, 976	8,370	-117	41.3
北	信越	780	215	995	-29	4.9
東	海	1, 391	546	1, 937	-136	9.5
関	西	2, 641	1, 120	3, 761	-47	18.5
中国	国四国	1, 365	422	1, 787	-45	8.8
九	州	1, 323	434	1, 757	-18	8.7
全	体	15, 175	5, 112	20, 287	-455	

2018年度	男子	女子	合計
北海道	567	159	726
東北	752	265	1,017
関東	6, 549	1, 938	8, 487
北信越	801	223	1, 024
東海	1, 513	560	2,073
関 西	2, 679	1, 129	3, 808
中国四国	1, 415	417	1,832
九州	1, 362	413	1, 775
全 体	15, 638	5, 104	20, 742

42 普通会員数報告

向上と進展会報157.indd 42 2020/01/05 17:57

ご入会ありがとうございました

小池 七郎 佐藤 良男 石黒 成彬 佐野 伊三夫 黒岩 重幸 入江 毅 田中 淳浩 佐沼 洋

替助会員募集中

この法人の目的及び活動に賛同し賛助する個人又は団体の方は、是非ご検討ください。

〈年会費〉 賛助会員 ¥10,000 (1口)

※年会費は毎年納入していただく必要があり、年度内(3月31日)まで有効となります。 ※本法人への賛助会費は寄付として扱われ、所得税等の納税控除の対象となります。

・会報への氏名・団体名の記載

・天皇賜盃日本学生陸上競技対校選手権大会への無料入場

〈入会手続きについて〉

- ①申込書(個人・団体)に必要事項を記入し、本法人へ郵送又はFAXしてください。
- ②本法人の指定銀行口座へ、年会費をお振込み願います。
- ③ご入金が確認でき次第、本法人の賛助会員として登録させていただきます。

何かご不明な点がございましたら、下記事務局までお問い合わせください。

[発行所] 公益社団法人 日本学生陸上競技連合 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-11 中沢ビル2階 TEL 03-5304-5542 FAX 03-5304-5569

|編|集|後|記|

岐阜長良川陸上競技場で行われました第88回日本学 生陸上競技対校選手権大会も無事終了し、その後、10 月14日に第31回出雲全日本大学選抜駅伝競走が開催さ れ、國學院大学が優勝しました。10月12日は大型台風 が関東を直撃し、選手、指導者、大会役員の移動が大変 でした。10月27日に第37回全日本大学女子駅伝対校選 手権大会が開催され、名城大学が3連覇、11月3日に第 51回全日本大学駅伝対校選手権大会が開催され、見事 東海大学が優勝を飾りました。昨年度から全日本大学駅 伝は、前半を短く、後半を長くという中継所を変更しま した。これで、1、2、3、4区では先頭が入れ替わるな ど面白いレースになりました。また、昨年からシード校 を6から8に増やすことにより、シード権の獲得に熾烈 な争いが繰り広げられました。第51回から「令和」とい う新しい元号と歩むことになりました。12月30日には 2019全日本大学女子選抜駅伝競走が、富士宮浅間神社 から富士市陸上競技場のコースで開催されます。今年も

美しい富士山に出会えることを期待しています。

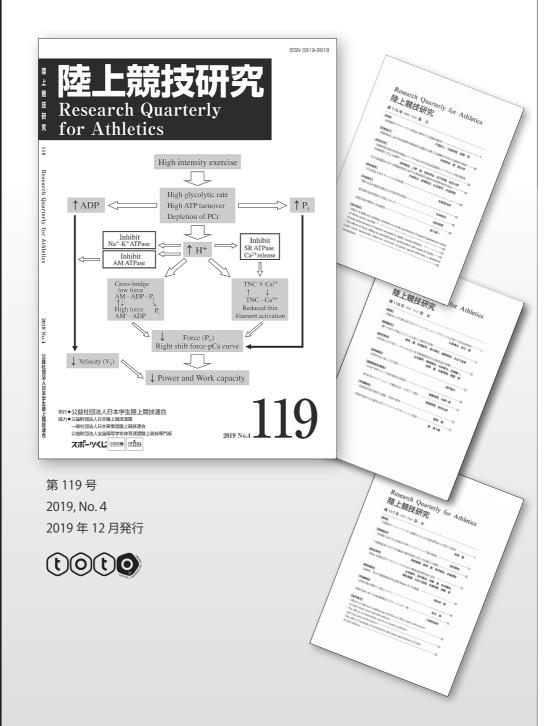
2019年は、我々の最大の目標であるユニバシアード 大会がイタリア・ナポリで開催されました。前回の台北 大会では参加国中1位のメダルを獲得しましたが、今回 も引き続き参加国中1位のメダルを獲得しました。選手 村が大型客船ということで、役員・選手とも貴重な経験 をしたようです。

世界大学クロスカントリー選手権が2020年3月7日 にモロッコのマラケシュで開催されます。これはFISU が管轄し、ユニバシアードの一連の大会になります。日 本学連では継続的に参加をしており、常に団体では男女 とも優勝かそれに近い成績を残しています。この大会を 2022年に招致しております。現在FISUの方で検討中で すが開催は濃厚と思われます。

このように日本学連の事業計画を、皆様方からいろい ろなご意見等をいただきながら、進展と向上を目指しな がら進めているところです。 (専務理事 永井 純)

編集後記 43

怪上競技研究」 購読のご案内



公益社団法人 日本学生陸上競技連合は機関研究誌『陸上競技研究』を発行しています。 購読会員として入会ご希望の方は,年会費(6,000円)を下記へ郵便振替にてご送金く ださい。

口座記号番号 00190-4-142923

加入者名(㈱陸上競技社・陸上競技研究

通信欄に「何号から1年間」と必ず明記してください。

バックナンバーについては(㈱陸上競技社 (TeLO3-5215-8881) にお問い合わせください。

(株)陸上競技社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-6 TEL. 03(5215)8881 FAX.03(5215)8882 http://www.rikujyokyogi.co.jp

向上と進展会報157.indd 44 2020/01/05 17:\$7